

2023年3月期

決算説明会

2023年4月27日

SBテクノロジー株式会社

証券コード 4726

1. 業績概況	P. 2
2. 中期経営計画の進捗	P. 9
3. 決算添付資料	P. 20
4. 会社情報	P. 36

業績概況

SB Technology

FY22
業績

売上高・営業利益・経常利益が過去最高を達成
営業利益率は前期から0.5ポイント改善し8.3%へ

受注
状況

中央省庁の大型運用案件を複数年分受注
過去最高の受注高・受注残高を達成しFY23へ

FY23
業績予測

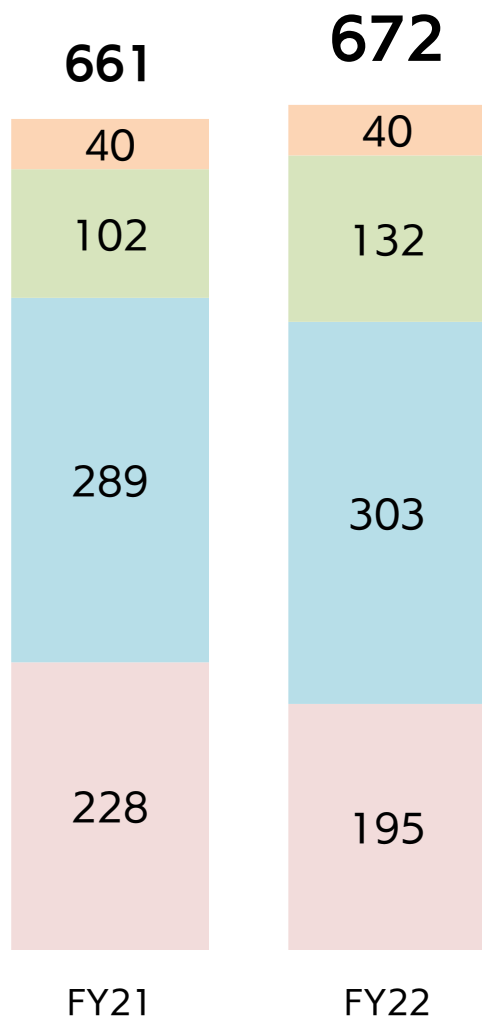
通期業績予想 売上高 690億円 営業利益 64億円
セキュリティなど高付加価値なサービスの伸長や品質・生産性の向上を目指し、営業利益率は中計目標を前倒し9%台へ

- 公共とエンタープライズ案件が増加、通信の減収を補い増収
- 過去最高の売上高・営業利益を達成、前期投資有価証券売却の影響が約6億円あり純利益は減益

	百万円 (利益率)	FY22	FY21	増減額	増減率
売上高		過去最高 67,227	66,183	+1,044	+1.6%
営業利益		過去最高 5,557 (8.3%)	5,152 (7.8%)	+404	+7.8%
経常利益		過去最高 5,499 (8.2%)	5,133 (7.8%)	+365	+7.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益		3,497 (5.2%)	3,630 (5.5%)	▲133	▲3.7%
EBITDA ※		過去最高 7,217	6,702	+514	+7.7%

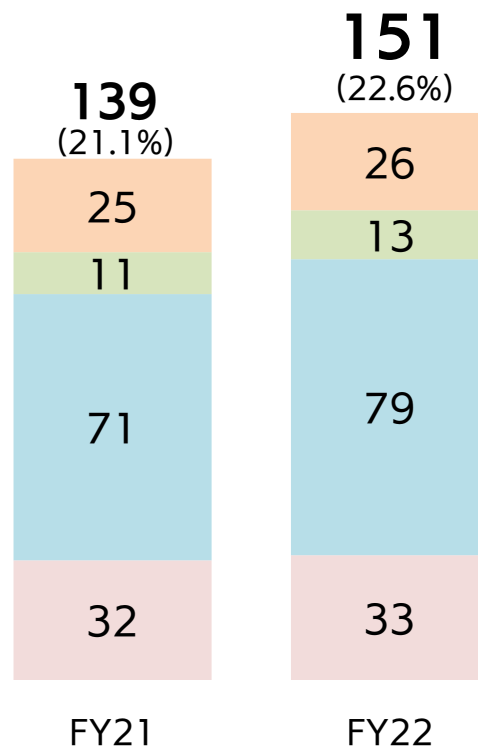
※EBITDA=営業利益+のれん償却費+減価償却費

売上高



売上総利益

億円
(利益率)



個人： 売上横ばい・増益

- (株)ノートンライフロックとの契約変更の影響が期初想定より後ろ倒し
- フォントワークス(株)の大型案件獲得により増益を確保

公共： 増収・増益

- 農林水産省向けと自治体情報SC※の運用で売上伸長
- 自治体情報SC引当コストが発生したものの増益を確保

エンタープライズ： 増収・増益

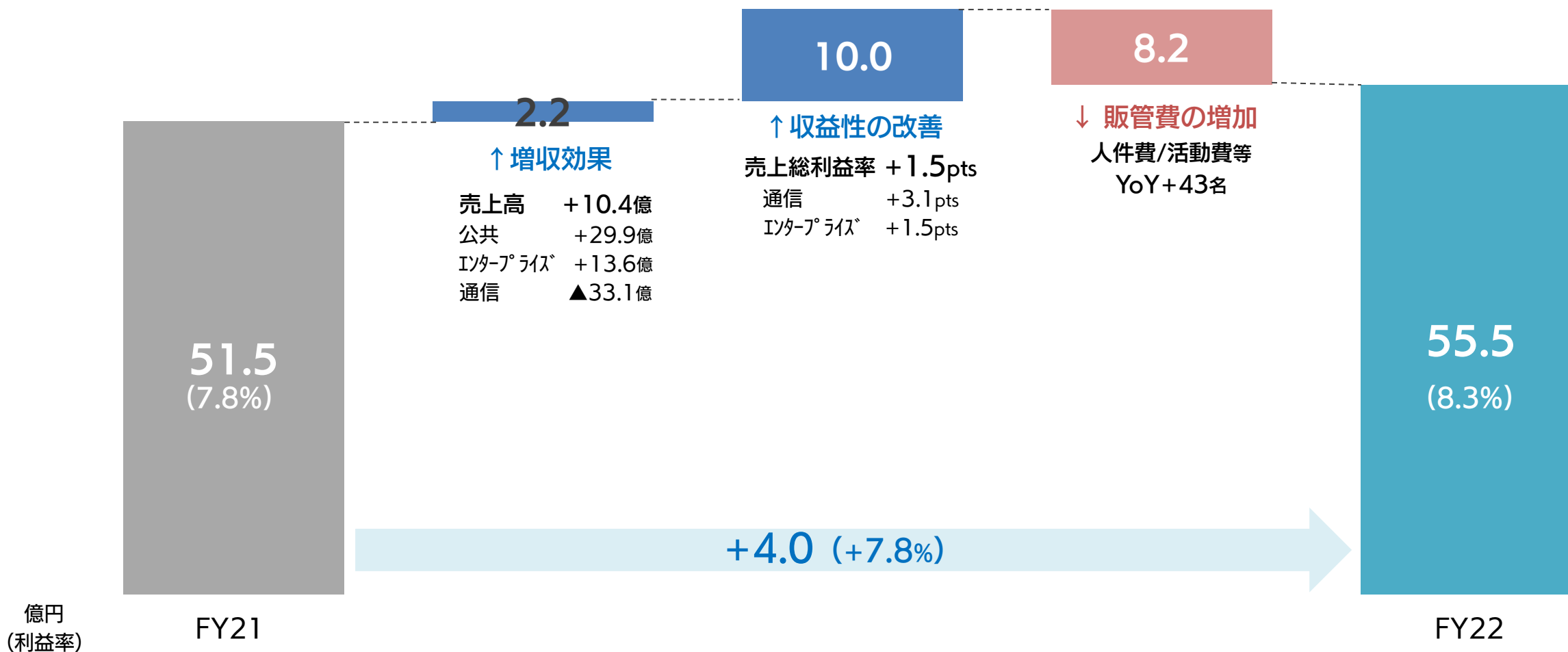
- マネージドセキュリティサービスが順調に伸長
- 製造業向けのクラウド構築が好調に推移

通信： 減収・増益

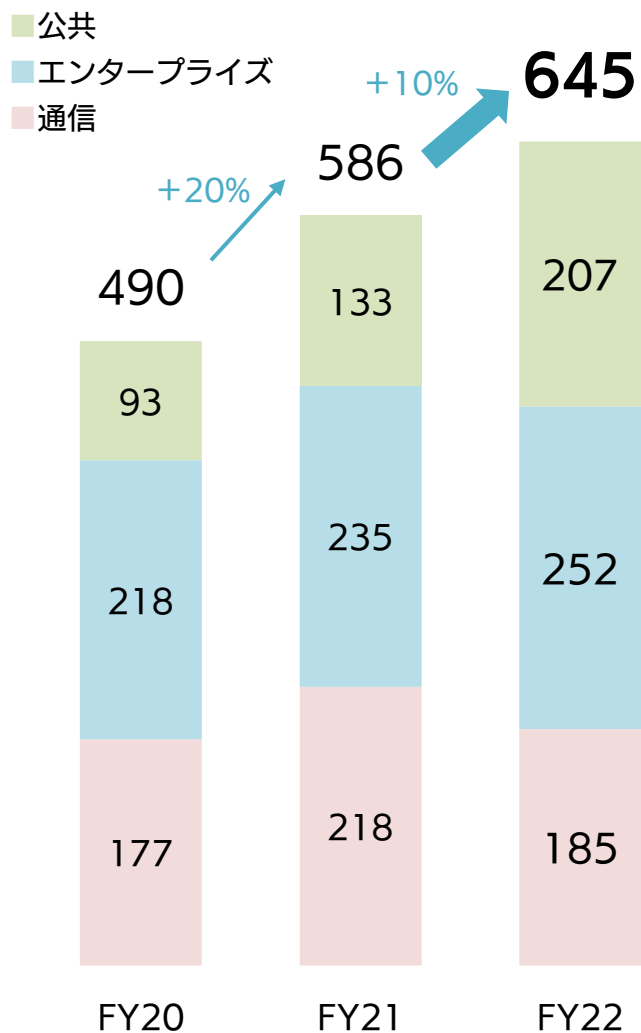
- ベンダーマネジメント案件から高付加価値な領域にシフトし減収も、効率化が進み利益率は改善

※SC：セキュリティクラウドの略

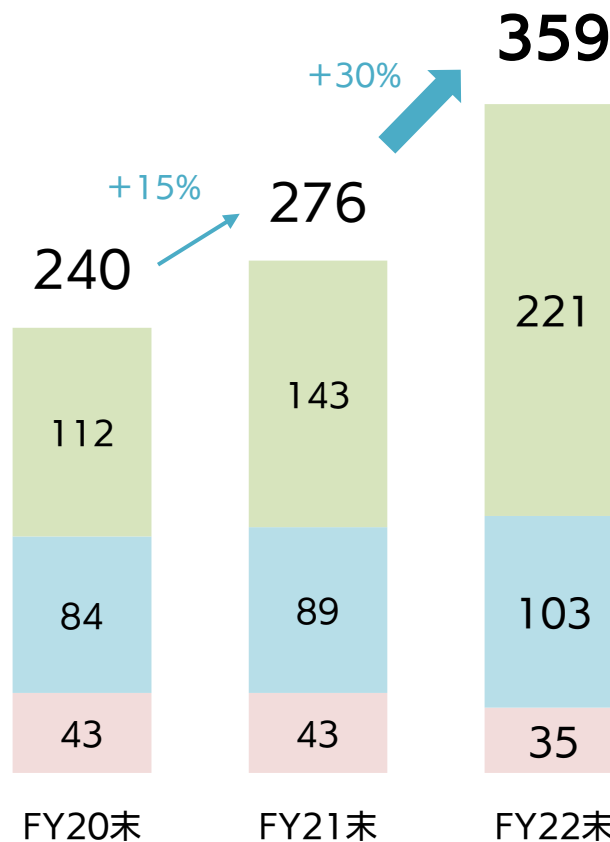
- 通信の効率化やセキュリティサービスの伸長により、売上総利益率が1.5ポイント改善
- 人員増に伴い販管費が8.2億円増加したものの、営業利益は4.0億円 (+7.8%) 増益



受注高



受注残高



単体受注残高
(YoY)

83億円増

FY22 主な受注案件

- 農林水産省の複数年運用案件を受注
- マネージドセキュリティサービスの受注も順調に積み上げ
- 通信向けはバツグンマシナリ外案件が減少
- 受注残高のうちFY23売上予定は66%

- 通信領域での投資抑制やノートンライフロック社との契約変更影響はあるものの、セキュリティやクラウド活用の需要は強くエンタープライズ・公共の売上は拡大
- 自社サービスの伸長や品質・生産性の向上により、営業利益率は中計目標を1年前倒しし9%台を計画

	FY23	FY22	増減額	増減率
売上高	69,000	67,227	+1,772	+2.6%
通信	16,300	19,575	▲3,275	▲16.7%
エンタープライズ	35,400	30,358	+5,042	+16.6%
公共	14,000	13,223	+777	+5.9%
個人	3,300	4,070	▲770	▲18.9%
営業利益	6,400 (9.3%)	5,557 (8.3%)	+842	+15.2%
経常利益	6,350 (9.2%)	5,499 (8.2%)	+850	+15.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,950 (5.7%)	3,497 (5.2%)	+452	+12.9%

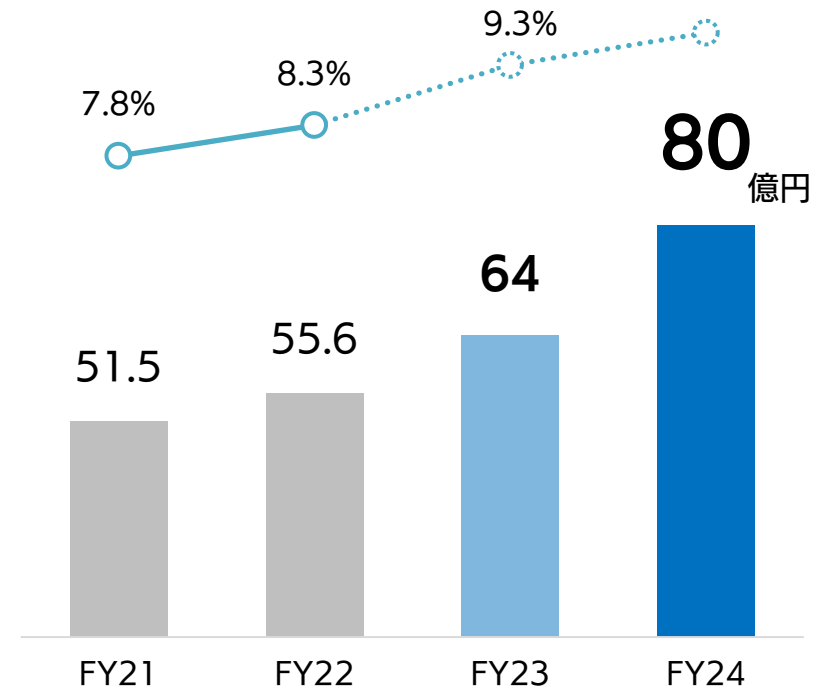
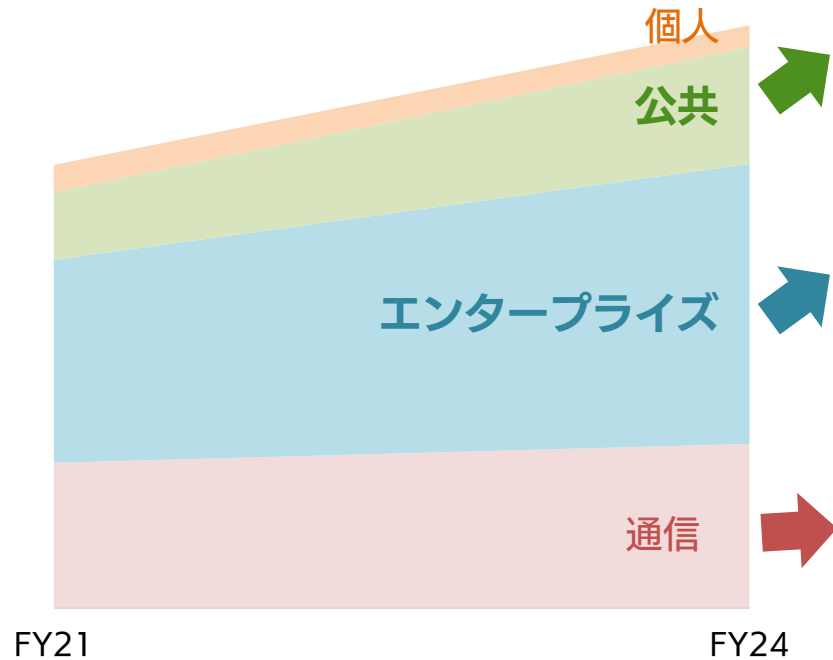
中期経営計画の進捗

第4次中期経営計画（FY22～FY24）

＝ SB Technology

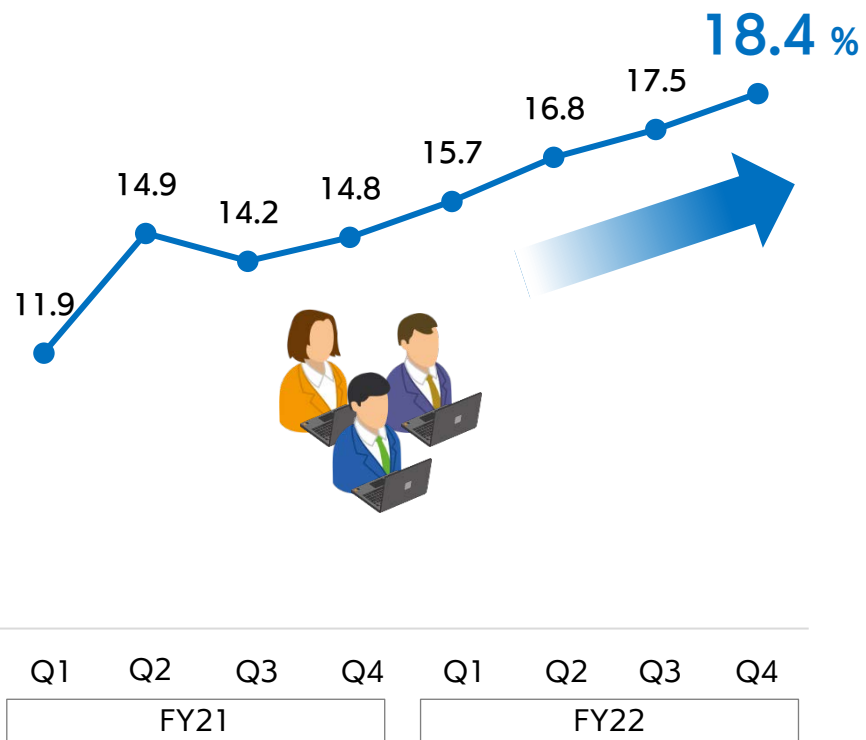
FY24 経営指標

- 1. 営業利益 **80**億円
- 2. 営業利益率 **9%台**
- 3. クラウド・セキュリティ&サービス売上高 **500**億円超



エンタープライズ・公共の伸びにより、**営業利益80億円 / 営業利益率9%台** を目指す

売上総利益率の推移

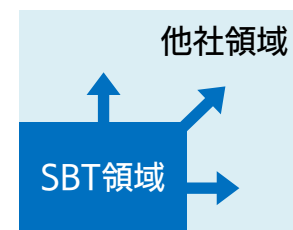


FY23での取り組み



オフショアの活用

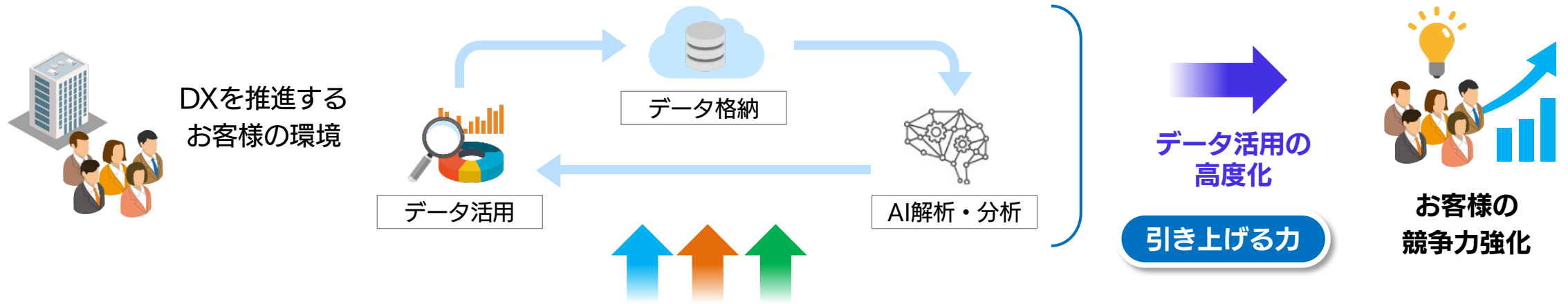
(原価低減 / リソース確保)



インナーシェアの拡大

(競合領域への侵攻)

品質改善、高付加価値案件へのシフトなどの取り組みにより
利益率は引き続き改善



マネージドセキュリティサービス

押し上げる力

SBテクノロジーの
提供するサービス



平時（予定）

- IT資産の把握と脆弱性管理
- クラウド設定の不備検知とリスクレポート

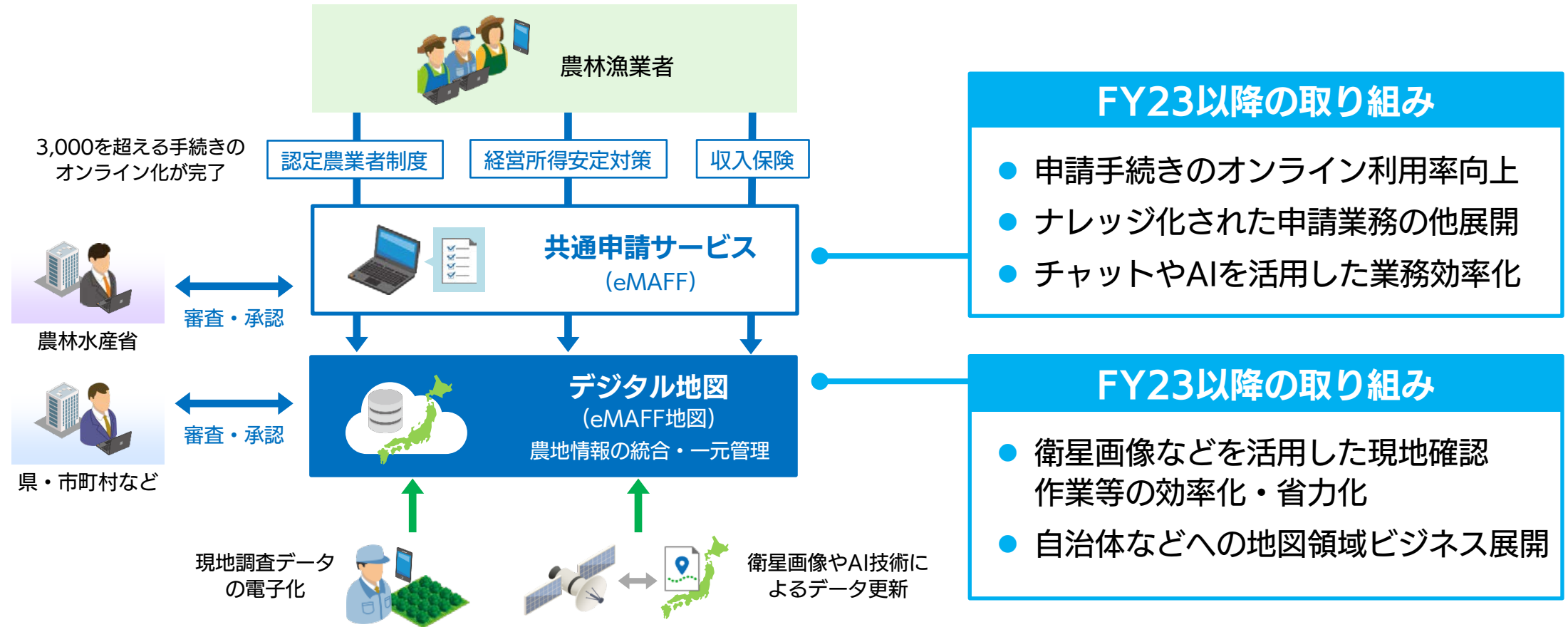
危機検知

- セキュリティログの収集及び
相関関係による攻撃分析
24時間365日体制でのセキュリティ監視

調査・復旧支援

- 障害/攻撃の検知時の対応
「初動」から「復旧」まで幅広く支援

お客様のクラウド環境を
平時から緊急時までサポートできるセキュリティサービスの提供体制を構築



FY23以降はこれまで取り組んできた強みが生きる領域を中心にデジタル化されたデータの利活用や他領域への展開へ注力

自治体情報セキュリティクラウド

再発防止策ならびに
最終報告の完了

安定運用体制の確立



サーバ集約スイッチ等の交換
更なる多重化や障害検知システム強化



自治体の皆様と、月次定例会や
サービスポータルを通じて情報共有強化

収益向上に向けた
自治体ビジネス展開



オプションサービス

オプション例



EDR*監視・運用



リモートデスクトップ

業務の
利便性向上

Microsoft 365 導入・移行 + セキュリティ



Microsoft 365

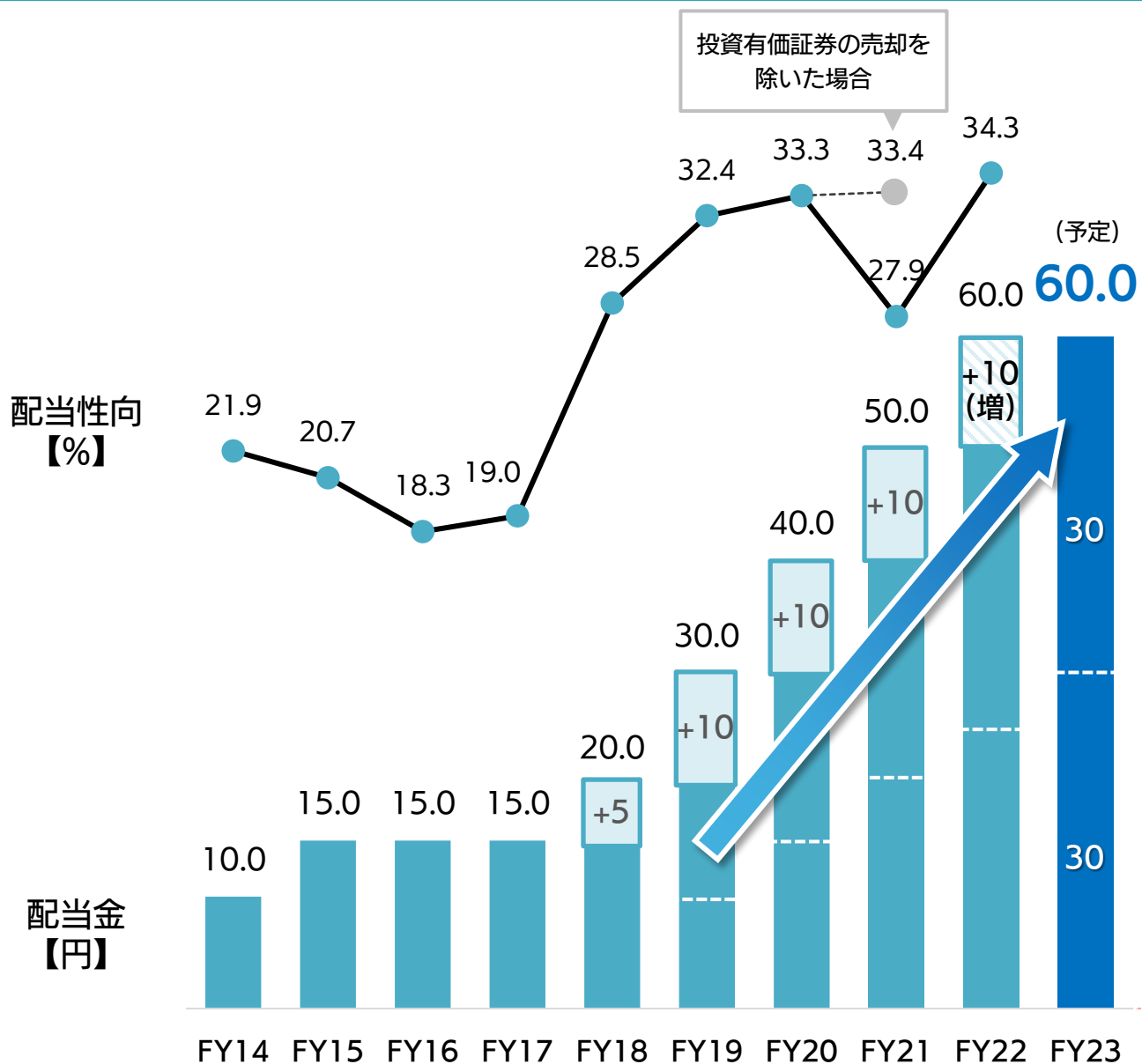


セキュリティサービス



再発防止策などを講じて、自治体情報SCは安定運用へ
オプションサービスの他に、自治体でのコミュニケーションインフラ周りを獲得へ

株主還元



23年3月期は
10円増配し年間配当60円(予定)
 自己株式の取得10.9億円を実施

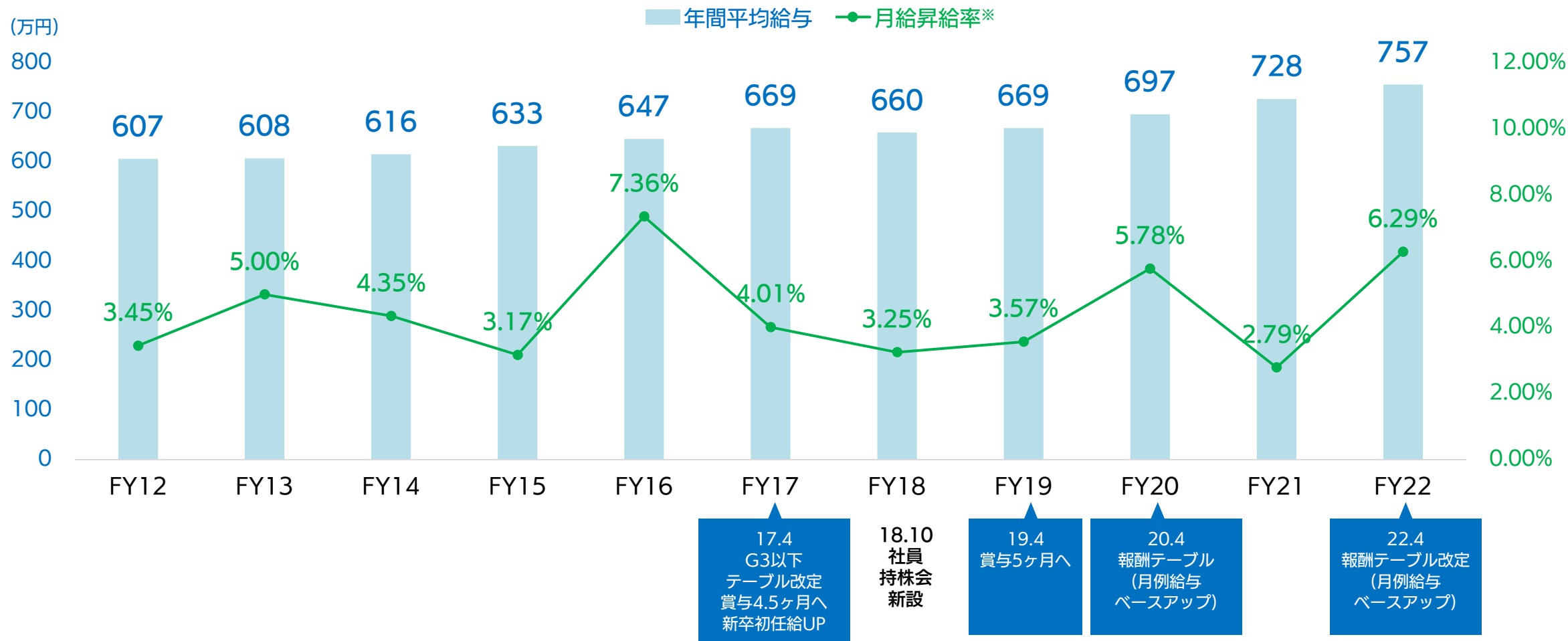
24年3月期は
 サービス開発投資やM&Aなど
 今後に向けた成長投資を計画

年間配当60円を予定
 (中間30円/期末30円)

(※) 2017年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行い、配当額を調整しております。

2012年以降、月例給与は賃上げ率ベースで世間水準と比較し平均「約2倍の水準」で推移

【FY22】SBテクノロジー 6.29% 全産業平均 2.02%



※年度評価対象者の「現在月給」と「年度評価後の次年度昇給後月給」と比較した平均アップ率

1. 営業利益 80億円

2. 営業利益率 9%台

3. クラウド・セキュリティ&サービス
売上高 500億円超

情報革命で人々を幸せに

～ 技術の力で、未来をつくる ～

＝ SB Technology

決算添付資料


＝ SB Technology

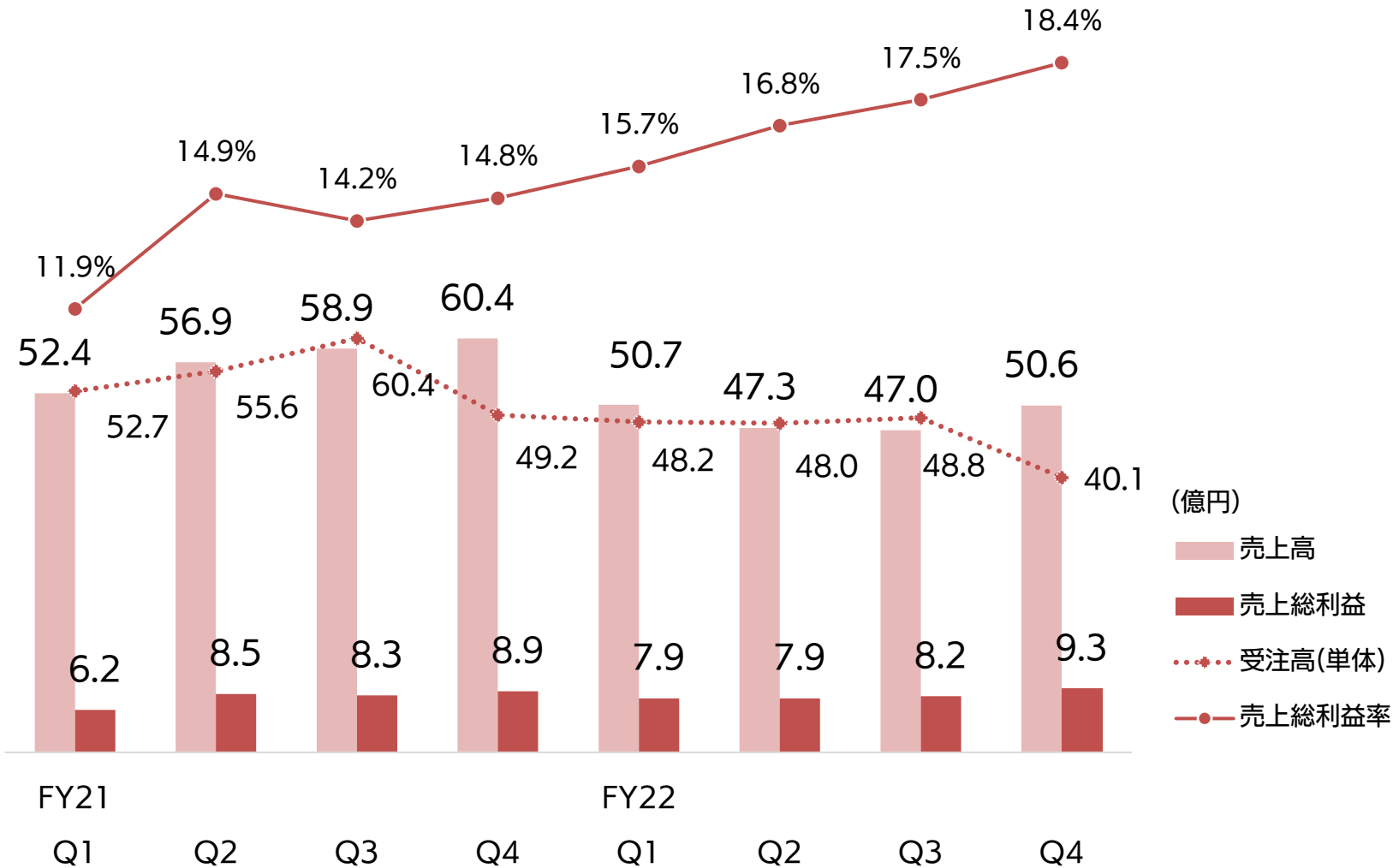
- 公共とエンタープライズのクラウド・セキュリティ案件が増加、通信の減収を補い増収
- 前期Q4に発生した投資有価証券売却益の影響により純利益は減益

	百万円 (利益率)	FY22Q4	FY21Q4	増減額	増減率
売上高		過去最高 18,996	18,557	+438	+2.4%
営業利益		過去最高 2,015 (10.6%)	1,492 (8.0%)	+522	+35.0%
経常利益		過去最高 2,009 (10.6%)	1,510 (8.1%)	+499	+33.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		1,388 (7.3%)	1,443 (7.8%)	▲54	▲3.8%
EBITDA ※		過去最高 2,438	1,889	+549	+29.1%

※EBITDA=営業利益+のれん償却費+減価償却費

今期より、事業ポートフォリオの変革の様子や
当社業績と外部環境・他社との比較がわかりやすくなるよう以下のとおり変更いたしました

	マーケット区分	ソリューション区分	利益指標
FY22以降	通信 エンタープライズ 公共 個人	クラウドソリューション セキュリティソリューション テクニカルソリューション 機器・ライセンス	売上総利益
			
FY21まで	SBグループ 法人/公共 個人	ビジネスITソリューション コーポレートITソリューション テクニカルソリューション ECソリューション	限界利益



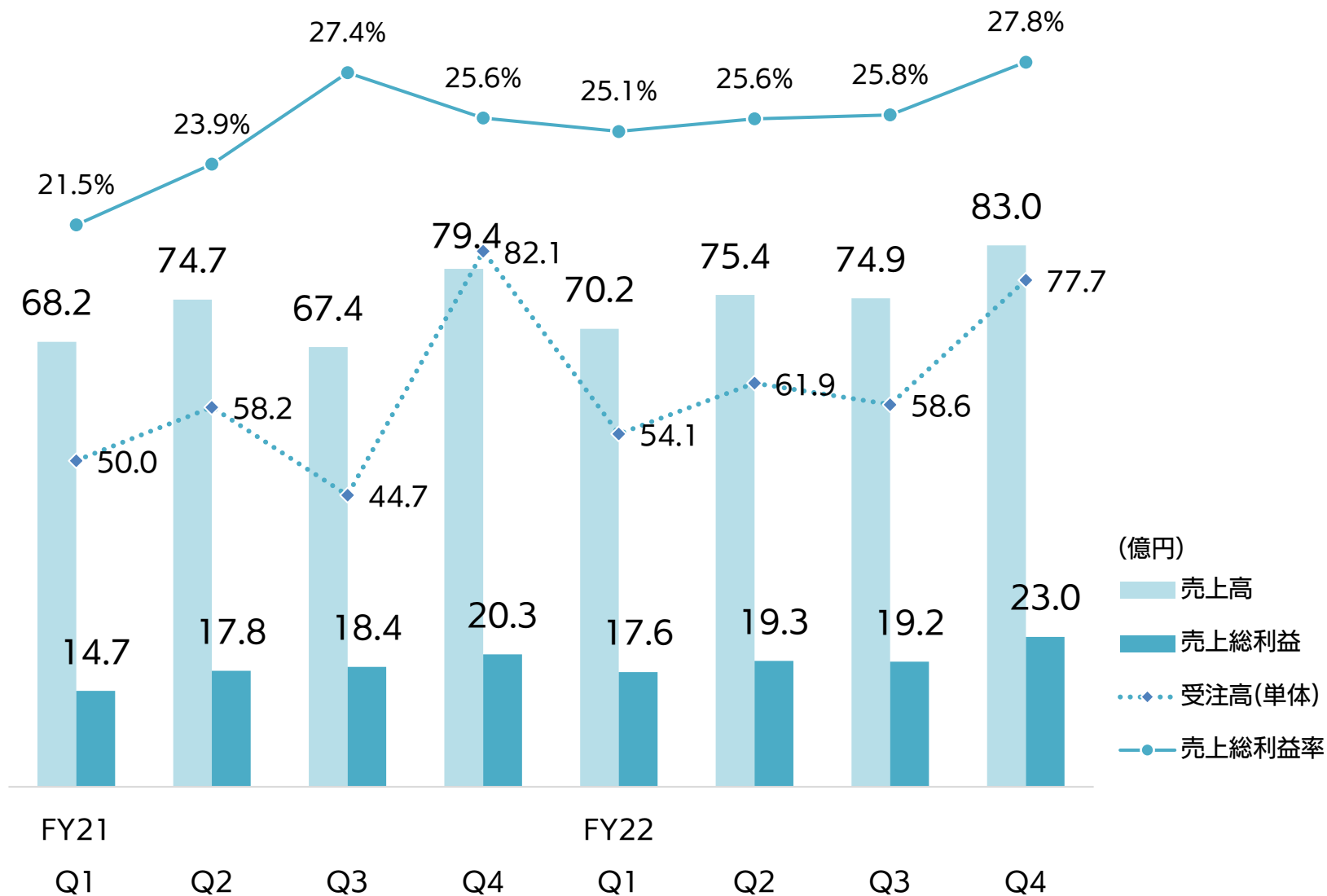
通信 (前年同期比)

受注高 (単体)

- ベンダーマネジメント案件の戦略的絞り込みや、前期あった大型案件の剥落により減少

売上高/売上総利益

- ベンダーマネジメント案件から高付加価値領域へシフト
- 効率化が進み利益率が向上



エンタープライズ (前年同期比)

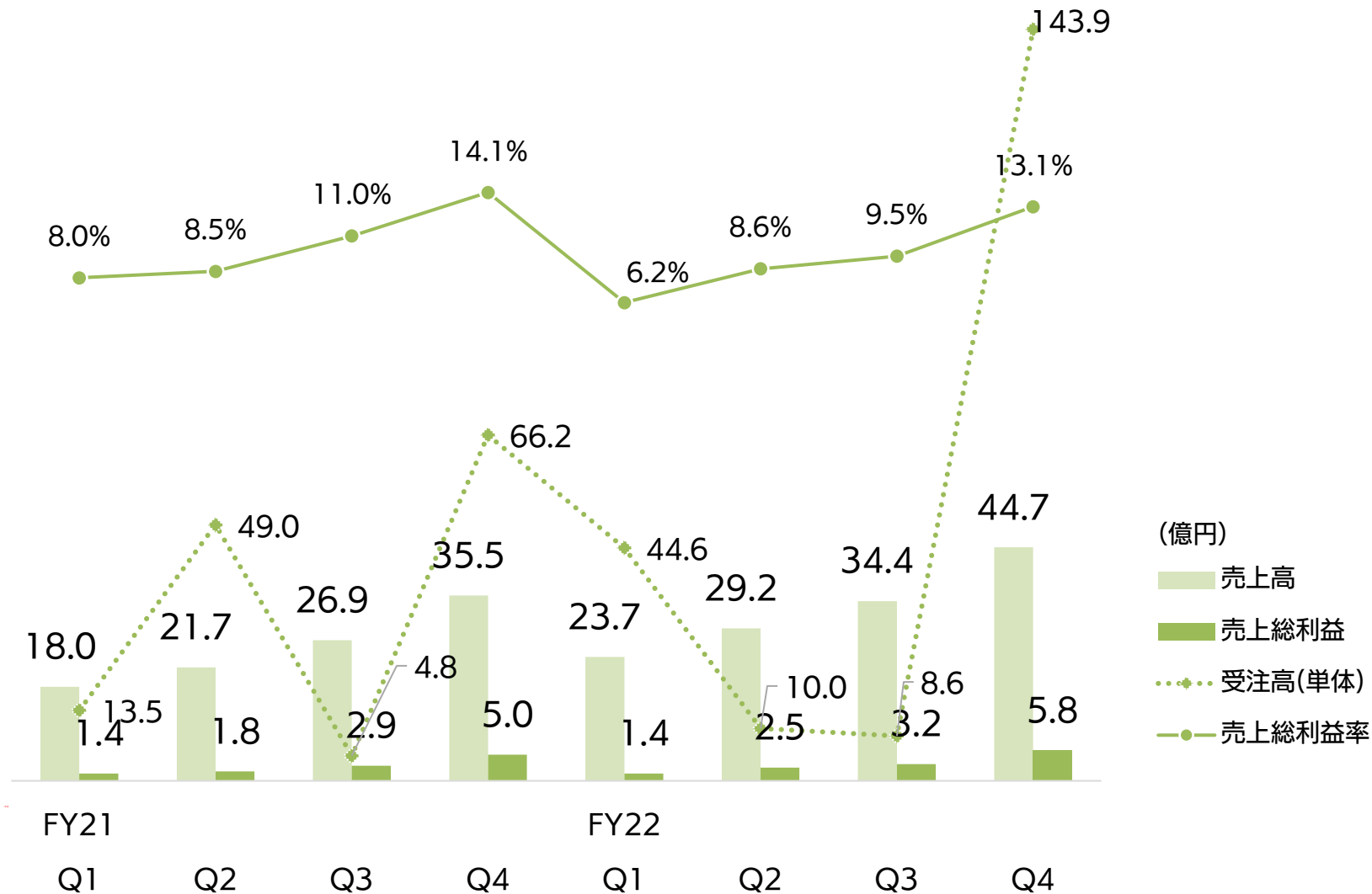
受注高 (単体)

- 自社サービスMSS※やクラウド開発・運用保守案件が増加するも、大型の機器ライセンス販売を終了し減少

売上高/売上総利益

- MSSは前年同期比1.6倍に売上伸長
- クラウド運用が順調に推移

※ マネージドセキュリティサービスの略



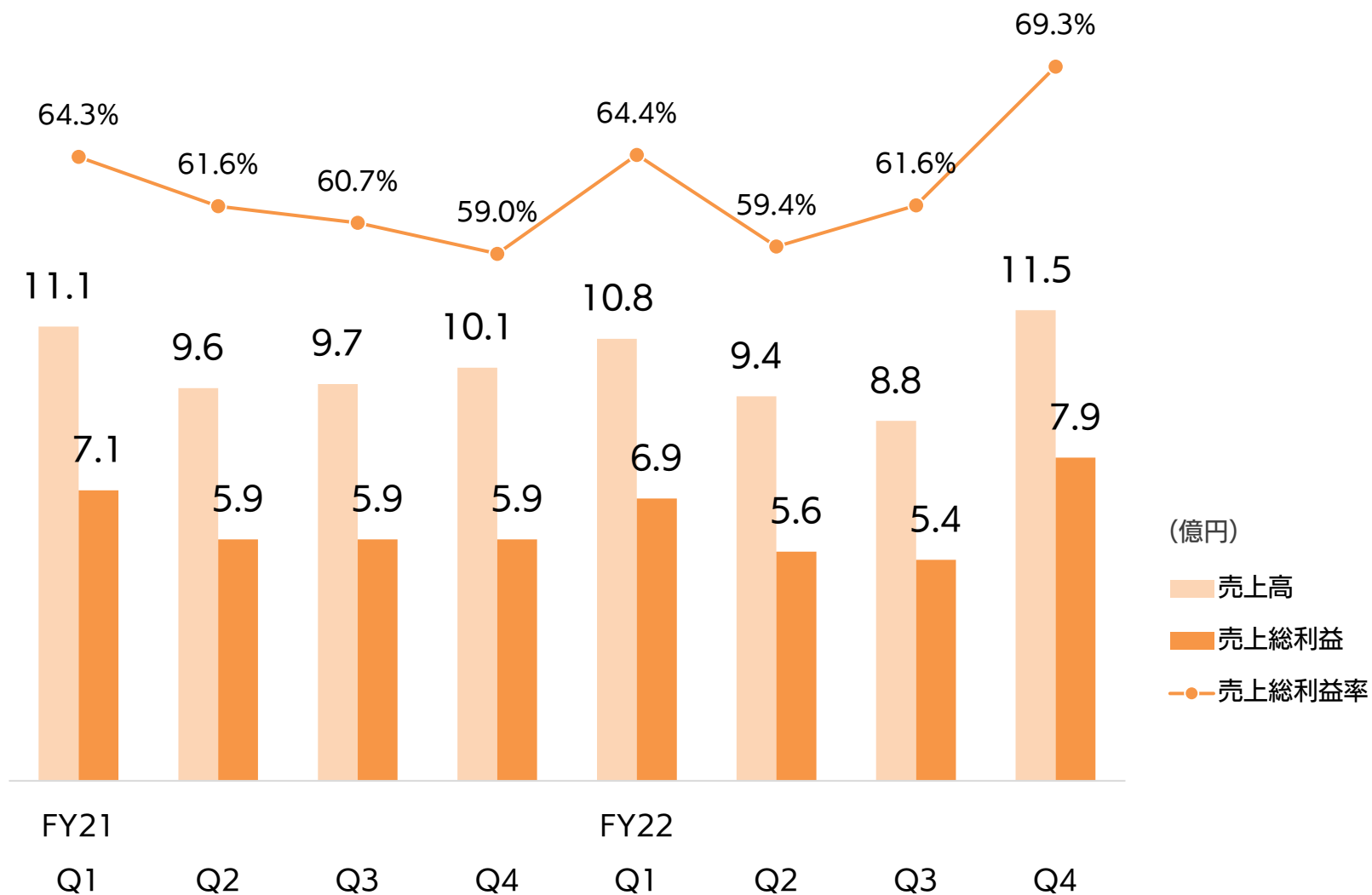
公共（前年同期比）

受注高（単体）

- 農林水産省向け共通申請や地図関連の複数年運用案件受注により増加

売上高/売上総利益

- 農林水産省向け案件や自治体情報SC運用により売上伸長
- 自治体情報SC引当コストが発生したものの増益を確保



個人 (前年同期比)

売上高/売上総利益

- (株)ノートンライフロックとの契約変更影響は期初計画よりも後ろ倒しとなったが、フォントワークス(株)の大型案件によりQoQで増収・増益

		(百万円)	FY21Q1	FY21Q2	FY21Q3	FY21Q4	FY21	FY22Q1	FY22Q2	FY22Q3	FY22Q4	FY22	前期比	
													増減額	増減率
連結業績	売上高	14,994	16,322	16,309	18,557	66,183	15,560	16,145	16,524	18,996	67,227	+1,044	+1.6%	
	売上総利益	2,954	3,416	3,571	4,030	13,974	3,405	3,538	3,625	4,625	15,194	+1,220	+8.7%	
	利益率	19.7%	20.9%	21.9%	21.7%	21.1%	21.9%	21.9%	21.9%	24.3%	22.6%	+1.5pt	-	
通信	売上高	5,241	5,699	5,898	6,048	22,888	5,079	4,731	4,701	5,062	19,575	▲3,313	▲14.5%	
	売上総利益	621	851	838	896	3,208	796	793	820	933	3,343	+135	+4.2%	
	利益率	11.9%	14.9%	14.2%	14.8%	14.0%	15.7%	16.8%	17.5%	18.4%	17.1%	+3.1pt	-	
エンタープライズ	売上高	6,826	7,478	6,742	7,945	28,993	7,021	7,540	7,493	8,301	30,358	+1,364	+4.7%	
	売上総利益	1,470	1,784	1,845	2,036	7,136	1,763	1,930	1,929	2,305	7,929	+792	+11.1%	
	利益率	21.5%	23.9%	27.4%	25.6%	24.6%	25.1%	25.6%	25.8%	27.8%	26.1%	+1.5pt	-	
公共	売上高	1,809	2,176	2,692	3,552	10,230	2,374	2,927	3,442	4,477	13,223	+2,992	+29.2%	
	売上総利益	144	184	296	501	1,126	147	252	328	586	1,315	+188	+16.8%	
	利益率	8.0%	8.5%	11.0%	14.1%	11.0%	6.2%	8.6%	9.5%	13.1%	9.9%	▲1.1pt	-	
個人	売上高	1,116	967	975	1,010	4,070	1,084	946	886	1,153	4,070	+0	+0.0%	
	売上総利益	718	596	591	595	2,502	698	561	546	799	2,606	+104	+4.2%	
	利益率	64.3%	61.6%	60.7%	59.0%	61.5%	64.4%	59.4%	61.6%	69.3%	64.0%	+2.5pt	-	

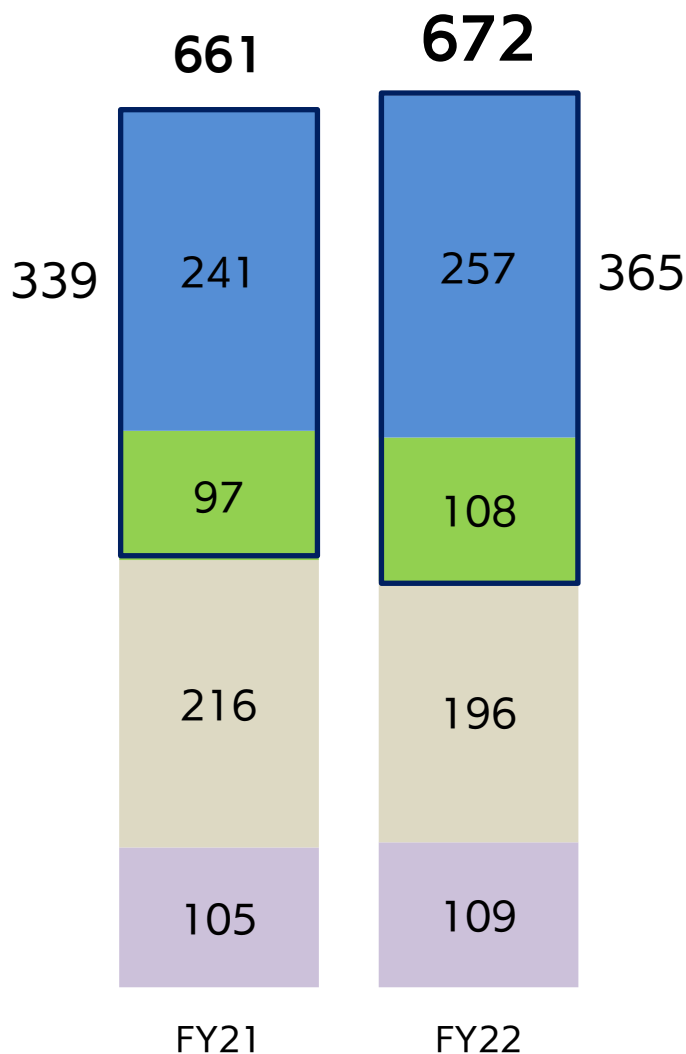
※一部のプロジェクトに関してセグメント区分の見直しを行い、現在の計上方法に則して算出しております。

連結業績（百万円）	FY21Q1	FY21Q2	FY21Q3	FY21Q4	FY21	FY22Q1	FY22Q2	FY22Q3	FY22Q4	FY22	前期比	
											増減額	増減率
売上高	14,994	16,322	16,309	18,557	66,183	15,560	16,145	16,524	18,996	67,227	+1,044	+1.6%
通信	5,241	5,699	5,898	6,048	22,888	5,079	4,731	4,701	5,062	19,575	▲3,313	▲14.5%
エンタープライズ	6,826	7,478	6,742	7,945	28,993	7,021	7,540	7,493	8,301	30,358	+1,364	+4.7%
公共	1,809	2,176	2,692	3,552	10,230	2,374	2,927	3,442	4,477	13,223	+2,992	+29.2%
個人/ライセンス	1,116	967	975	1,010	4,070	1,084	946	886	1,153	4,070	+0	+0.0%
売上原価	12,039	12,905	12,737	14,526	52,209	12,154	12,607	12,899	14,370	52,032	▲176	▲0.3%
売上総利益	2,954	3,416	3,571	4,030	13,974	3,405	3,538	3,625	4,625	15,194	+1,220	+8.7%
販売管理費	2,042	2,123	2,117	2,538	8,821	2,320	2,353	2,354	2,609	9,637	+816	+9.3%
営業利益	912	1,293	1,454	1,492	5,152	1,085	1,184	1,271	2,015	5,557	+404	+7.8%
営業外損益	▲34	18	▲20	17	▲19	▲15	▲32	▲4	▲5	▲58	▲38	-
経常利益	877	1,311	1,433	1,510	5,133	1,070	1,152	1,266	2,009	5,499	+365	+7.1%
特別損益	19	▲21	▲1	503	499	7	23	3	▲77	▲42	▲542	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	516	798	871	1,443	3,630	646	699	762	1,388	3,497	▲133	▲3.7%
EBITA	1,274	1,676	1,861	1,889	6,702	1,494	1,599	1,685	2,438	7,217	+514	+7.7%
単体 受注残高	23,634	26,403	23,678	27,612	27,612	29,602	27,921	25,641	35,939	35,939	+8,327	+30.2%

※EBITDA=営業利益+のれん償却費+減価償却費

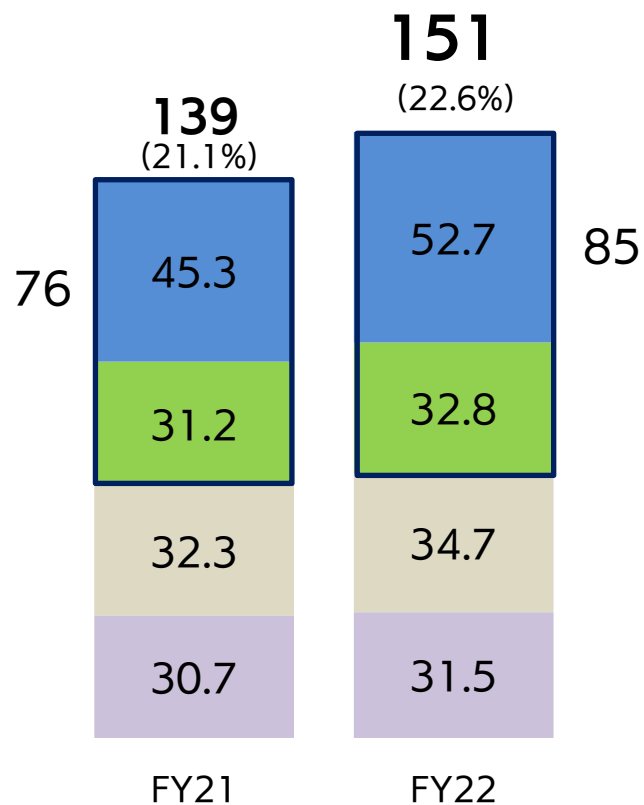
※一部のプロジェクトに関してセグメント区分の見直しを行い、現在の計上方法に則して算出しております

売上高



売上総利益

億円
(利益率)



クラウドソリューション：増収・増益

- 農林水産省向けデジタル地図、共通申請の運用が順調
- エンタープライズ向けクラウド構築や移行支援も伸長

セキュリティソリューション：増収・増益

- 自治体情報SC運用の10県分がFY22より開始
- エンタープライズ向けMSSが順調に進捗

テクニカルソリューション：減収・増益

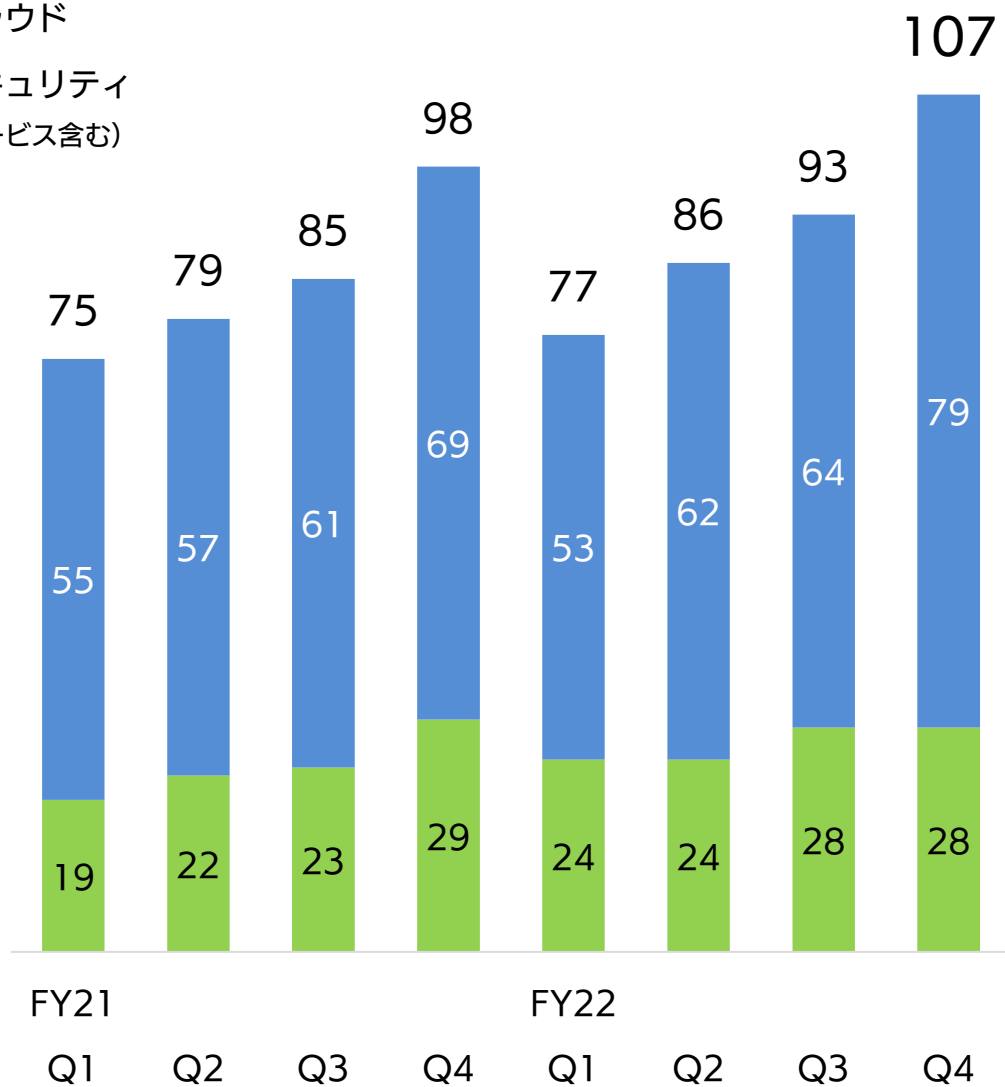
- ベンダーマネジメント案件から高付加価値な領域へのシフト推進中、効率化が進み利益率が改善

機器・ライセンス：増収・増益

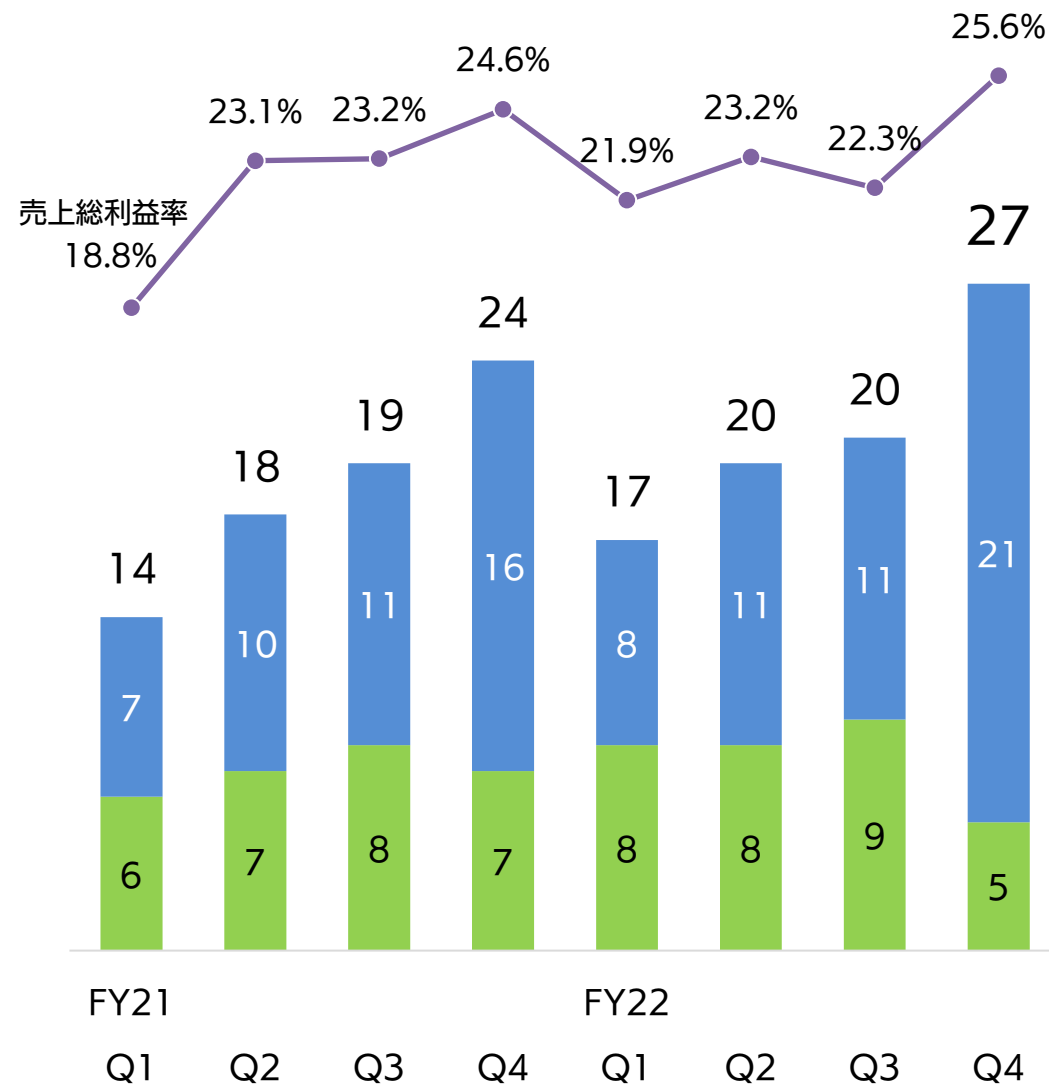
- 製造業向けライセンスが増加
- フォントワークス(株)の大型案件獲得により増益

売上高

■ クラウド
■ セキュリティ
(自社サービス含む)



売上総利益



		FY21Q1	FY21Q2	FY21Q3	FY21Q4	FY21	FY22Q1	FY22Q2	FY22Q3	FY22Q4	FY22	前期比	
												増減額	増減率
連結業績 (百万円)	売上高	14,994	16,322	16,309	18,557	66,183	15,560	16,145	16,524	18,996	67,227	+1,044	+1.6%
	売上総利益	2,954	3,416	3,571	4,030	13,974	3,405	3,538	3,625	4,625	15,194	+1,220	+8.7%
	利益率	19.7%	20.9%	21.9%	21.7%	21.1%	21.9%	21.9%	21.9%	24.3%	22.6%	+1.5pt	-
クラウド	売上高	5,492	5,719	6,067	6,915	24,195	5,237	6,160	6,424	7,946	25,768	+1,573	+6.5%
	売上総利益	711	1,051	1,137	1,633	4,533	827	1,149	1,099	2,199	5,276	+743	+16.4%
	利益率	12.9%	18.4%	18.7%	23.6%	18.7%	15.8%	18.7%	17.1%	27.7%	20.5%	+1.8pt	-
セキュリティ	売上高	2,037	2,280	2,454	2,955	9,727	2,558	2,531	2,903	2,823	10,817	+1,089	+11.2%
	売上総利益	703	795	835	794	3,129	882	867	981	555	3,286	+156	+5.0%
	利益率	34.5%	34.9%	34.0%	26.9%	32.2%	34.5%	34.3%	33.8%	19.7%	30.4%	▲1.8pt	-
テクニカルソリューション	売上高	4,875	5,469	5,543	5,780	21,667	5,093	4,773	4,675	5,134	19,677	▲1,989	▲9.2%
	売上総利益	676	828	837	897	3,239	822	830	854	968	3,475	+236	+7.3%
	利益率	13.9%	15.1%	15.1%	15.5%	15.0%	16.1%	17.4%	18.3%	18.9%	17.7%	+2.7pt	-
機器販売/ライセンス	売上高	2,589	2,853	2,244	2,905	10,592	2,671	2,680	2,520	3,091	10,963	+371	+3.5%
	売上総利益	863	741	761	705	3,071	873	690	690	902	3,156	+85	+2.8%
	利益率	33.3%	26.0%	33.9%	24.3%	29.0%	32.7%	25.8%	27.4%	29.2%	28.8%	▲0.2pt	-

経営指標 ^{※1} 合計	売上高	7,530	7,999	8,521	9,870	33,922	7,795	8,692	9,328	10,769	36,585	+2,662	+7.8%
	売上総利益	1,415	1,847	1,972	2,427	7,663	1,710	2,016	2,080	2,755	8,562	+899	+11.7%
	利益率	18.8%	23.1%	23.2%	24.6%	22.6%	21.9%	23.2%	22.3%	25.6%	23.4%	+0.8pt	-

※1：クラウドソリューション+セキュリティソリューション(自社サービスを含む)

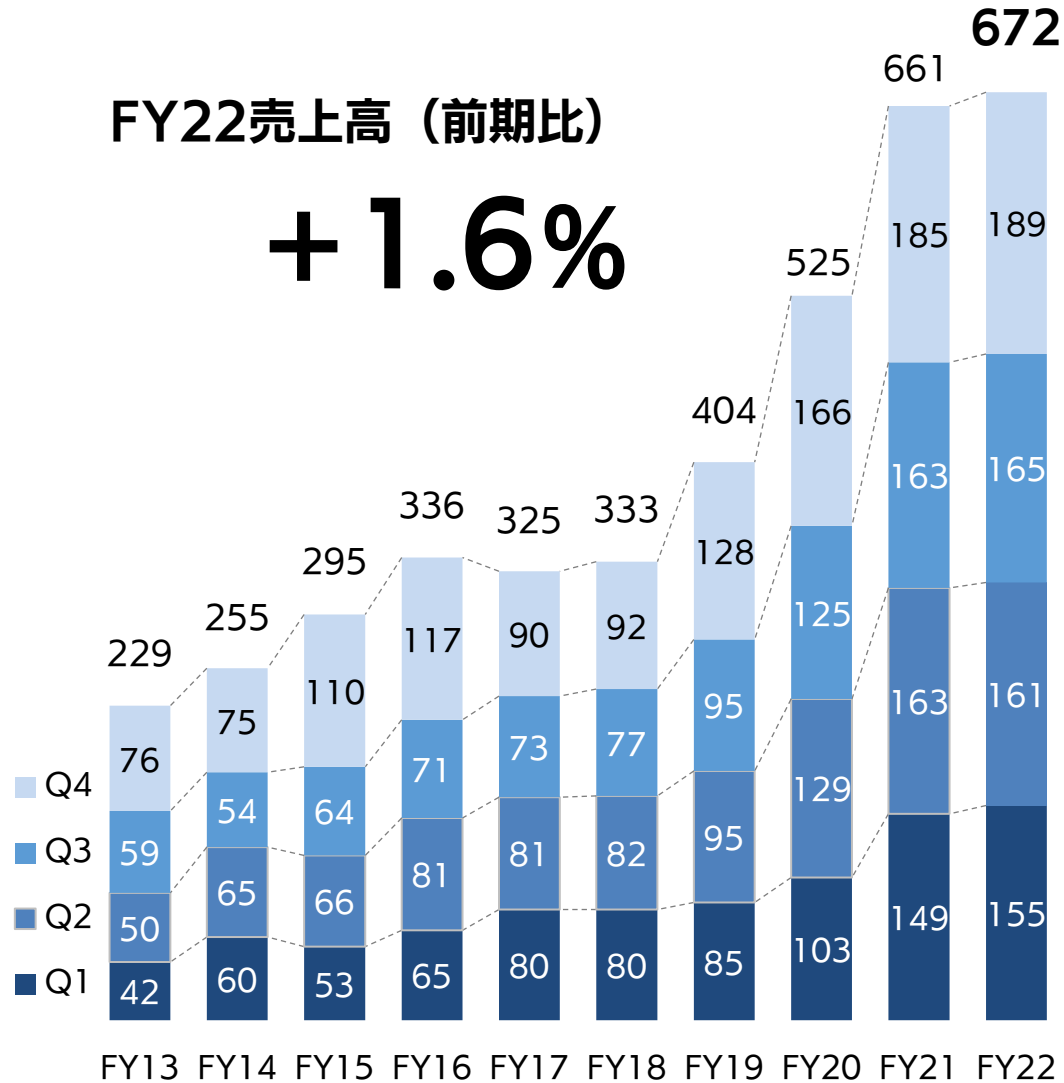
※一部のプロジェクトに関してセグメント区分の見直しを行い、現在の計上方法に則して算出しております。

中計目標 営業利益80億円

(FY24連結営業利益)

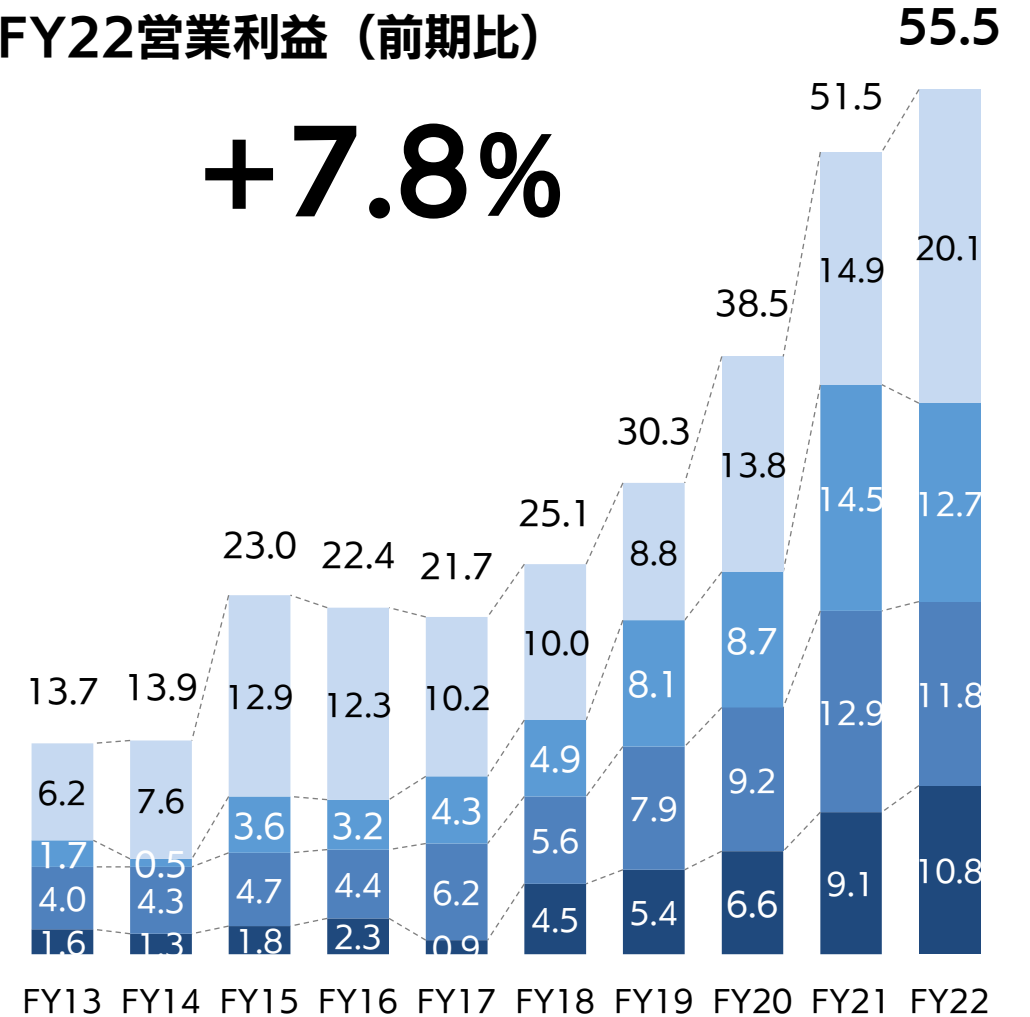
FY22売上高 (前期比)

+1.6%



FY22営業利益 (前期比)

+7.8%

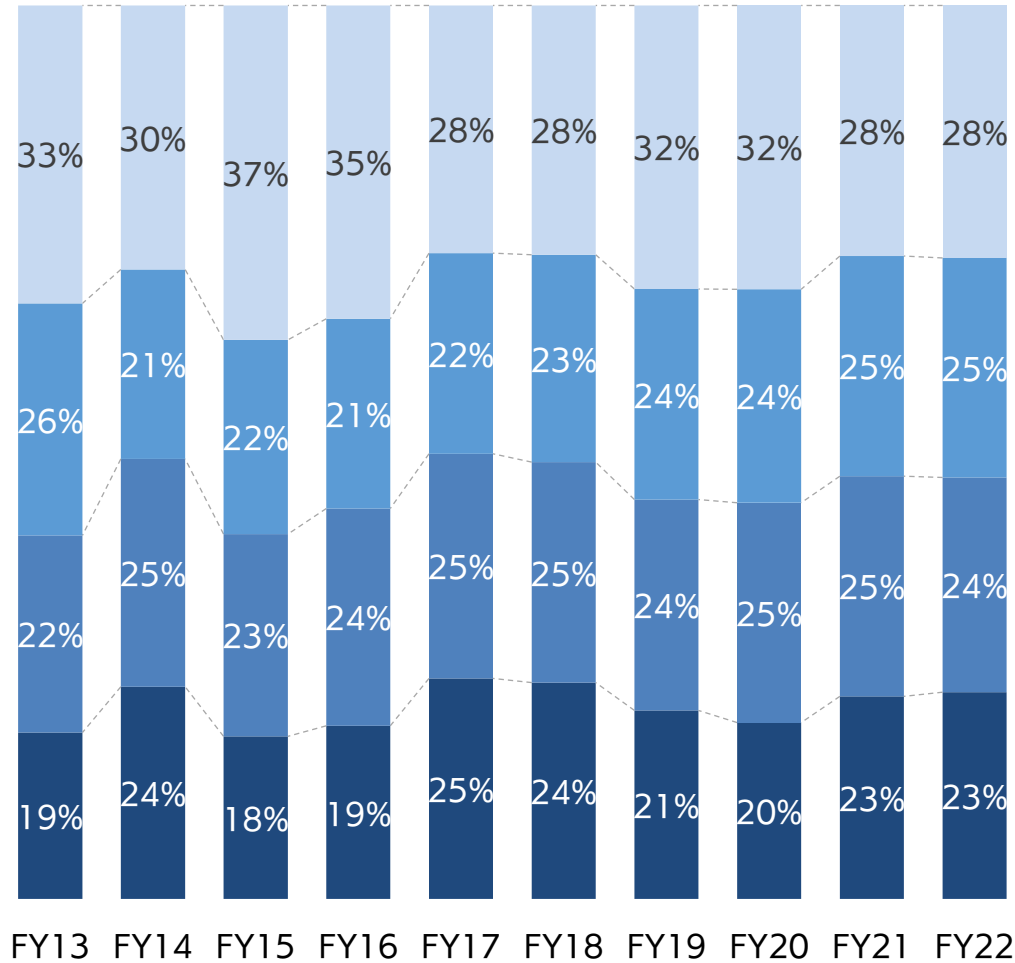


〔億円〕

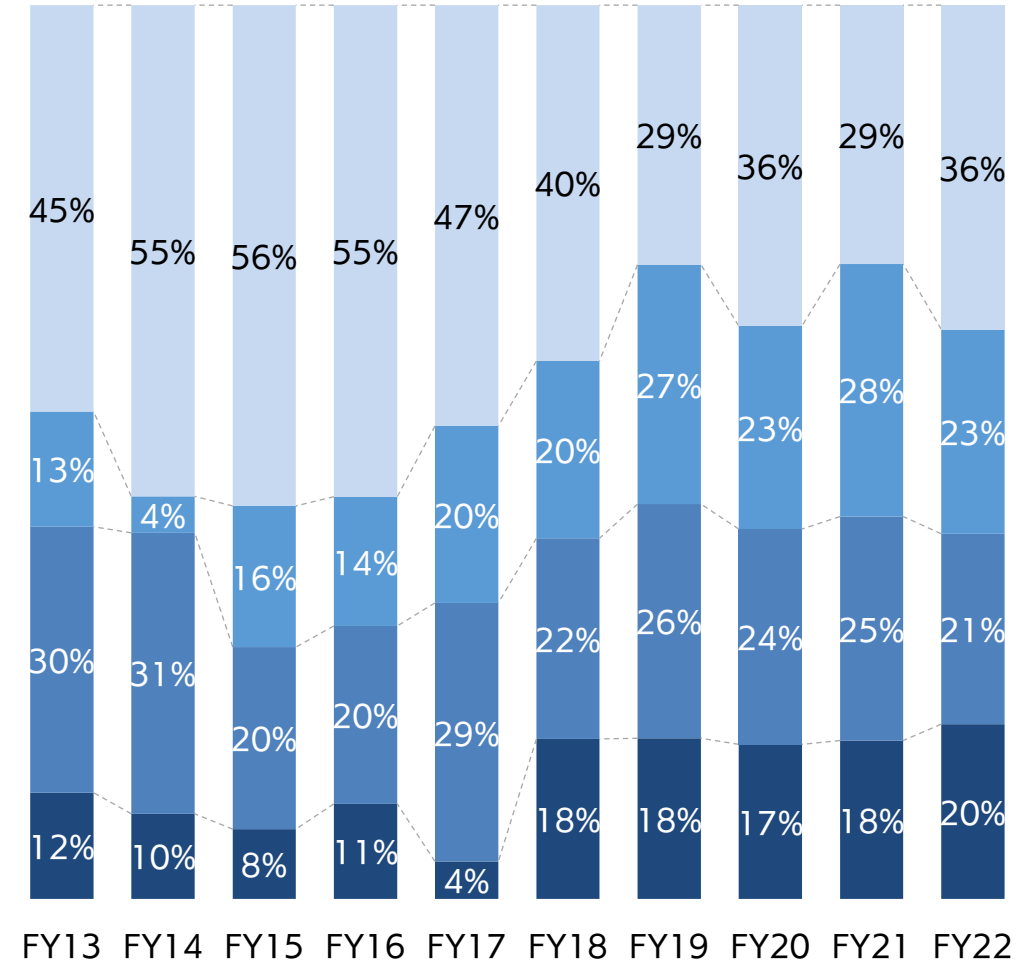
※FY21Q1より「収益認識に関する会計基準」を適用、FY20以前の売上高は主な影響であるノートンビジネスの売上を過去から純額表示にした参考値

売上高

■ Q4 ■ Q3 ■ Q2 ■ Q1



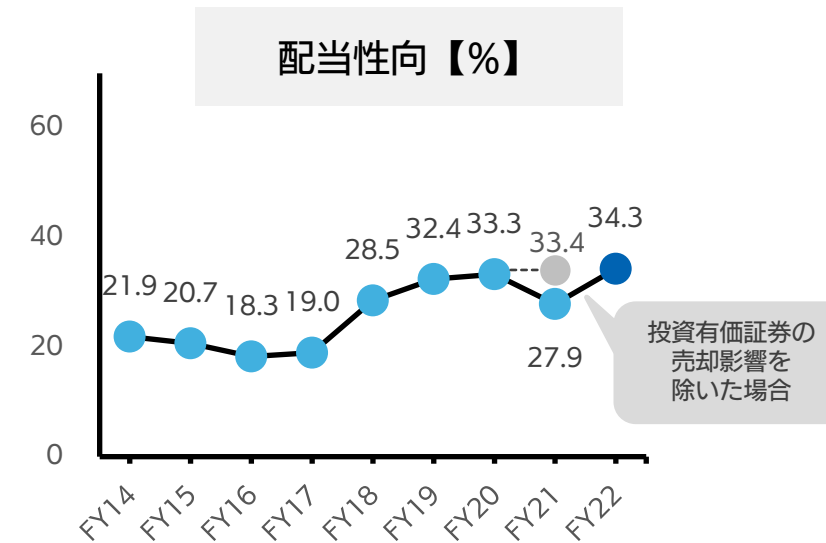
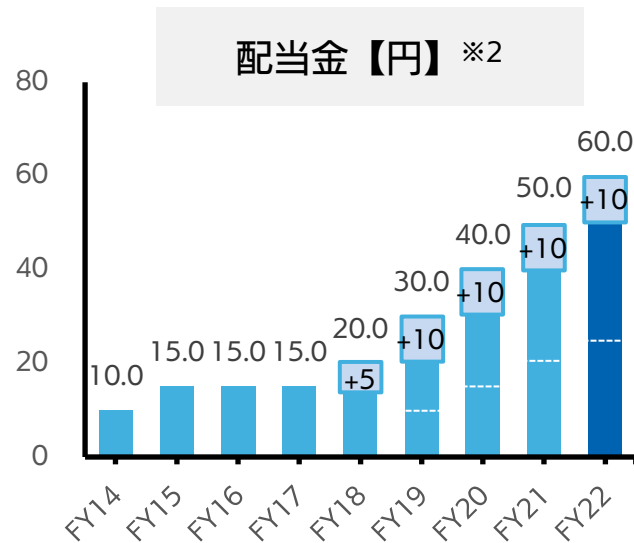
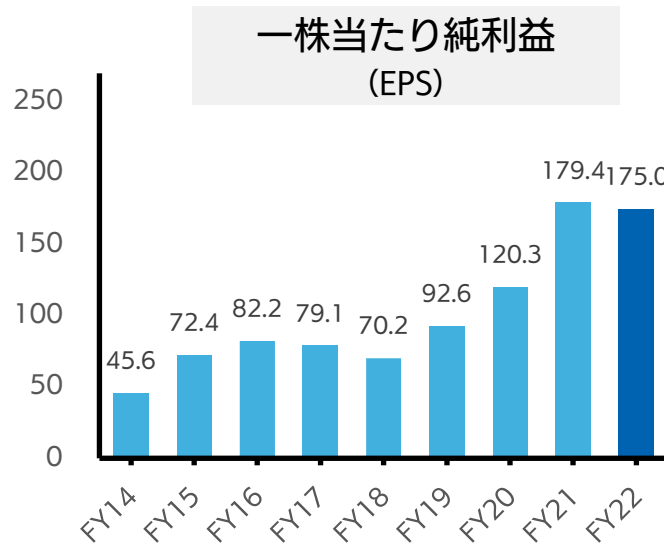
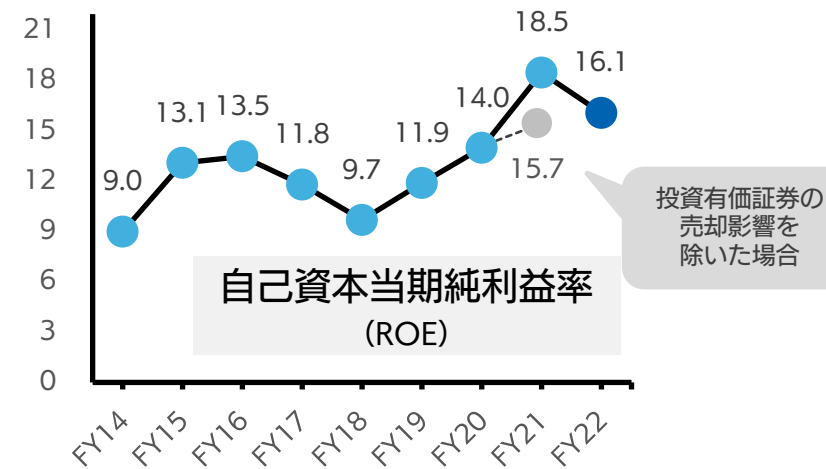
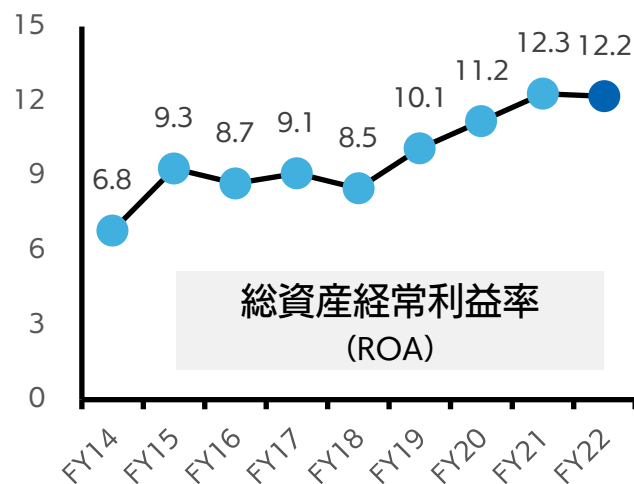
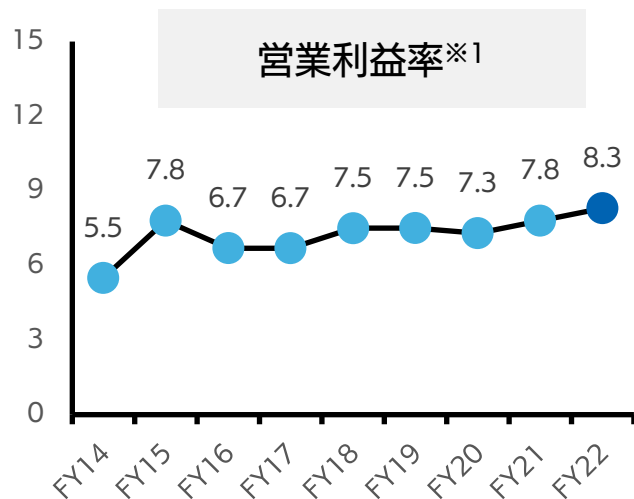
営業利益



〔億円〕

※FY21Q1より「収益認識に関する会計基準」を適用、FY20以前の売上高は主な影響であるノートンビジネスの売上を過去から純額表示にした参考値

(百万円)	2022/3末	2023/3末	前期末比
流動資産	34,326	35,622	1,295
現預金	8,762	8,221	△ 540
受取手形・売掛金	22,290	24,133	1,843
固定資産	10,036	9,842	△ 193
有形固定資産	1,661	1,681	19
無形固定資産	4,486	4,120	△ 365
投資その他の資産	3,888	4,040	152
総資産	44,365	45,466	1,100
流動負債	18,896	18,590	△ 306
固定負債	2,088	1,708	△ 380
純資産	23,379	25,167	1,787



※1：FY21Q1より「収益認識に関する会計基準」を適用、主要な影響であるノートンビジネスの売上を過去から純額表示にした際の営業利益率

※2：2017年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割、それ以前の配当額を調整

会 社 情 報

＝ SB Technology

会社概要

(2023年3月31日現在)

商号 SBテクノロジー株式会社(※)
 所在地 東京都新宿区新宿六丁目27番30号
 事業内容 ICTサービス事業
 設立 1990年10月16日
 資本金 1,270百万円
 従業員数 連結 1,417名 (単体 918名)

(※)2019年10月1日付でソフトバンク・テクノロジー株式会社からSBテクノロジー株式会社に商号変更しております



ISMS認証登録範囲:
 本社、芝大門、天王洲、
 大阪、名古屋、福岡、富山

経営理念

Mission 存在意義

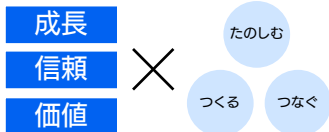
情報革命で人々を幸せに
 ~技術の力で、未来をつくる~

Vision 目指す姿

多様な働き方と挑める環境で先進技術と創造性を磨き、
 社会に新しい価値を提供し続ける

Value 価値観・行動指針

3つの視点
 ×
 3つのアクションで
 多様性を認め合う



役員

(2023年4月1日現在)

取締役

代表取締役社長 CEO 阿多 親市
 取締役 CSO 佐藤 光浩
 取締役 CFO 岡崎 正明
 取締役 金子 公彦
 社外取締役 鈴木 茂男
 社外取締役 宗像 義恵
 社外取締役 富永 由加里
 社外取締役 宮川 由香
 社外取締役 澤 円

監査役

常勤監査役 上野 光正
 監査役 廣瀬 治彦
 監査役 中野 通明
 監査役 内藤 隆志

執行役員

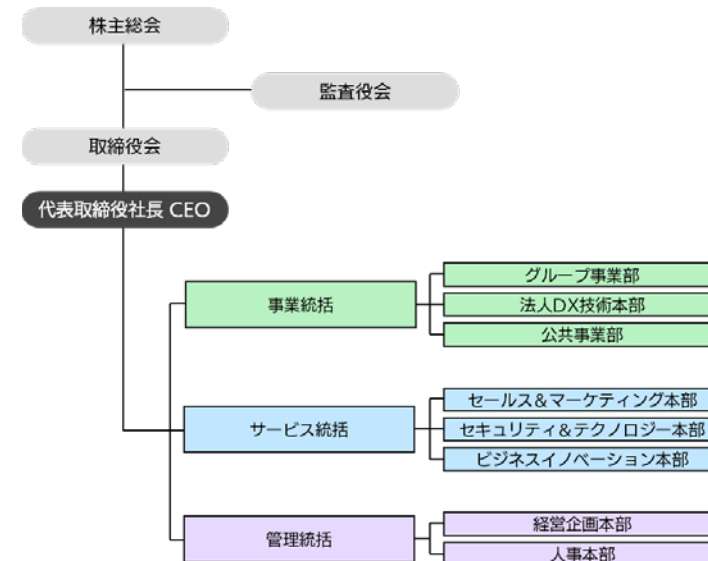
最高経営責任者執行役員 阿多 親市
 副社長執行役員 CSO 佐藤 光浩
 常務執行役員 CFO 岡崎 正明
 常務執行役員 喜多村 晃
 常務執行役員 CIO 渡辺 真生
 上席執行役員 CCO 正岡 聖一
 執行役員 青木 誠
 執行役員 宮澤 拓哉
 執行役員 CDO 金澤 謙悟
 執行役員 CMO 上原 郁磨

役職名英文の正式名称は以下のとおりです

CEO Chief Executive Officer (最高経営責任者)
 CSO Chief Strategy Officer (最高戦略責任者)
 CFO Chief Financial Officer (最高財務責任者)
 CIO Chief Information Officer (最高情報責任者)
 CCO Chief Compliance Officer (最高コンプライアンス責任者)
 CDO Chief DX Officer (最高DX責任者)
 CMO Chief Marketing Officer (最高マーケティング責任者)

組織図

(2023年4月1日現在)



認定・評価

(2023年4月1日現在)



えるぼし



くるみん



令和4年度
 「テレワーク先駆者百選」



健康経営優良法人2023



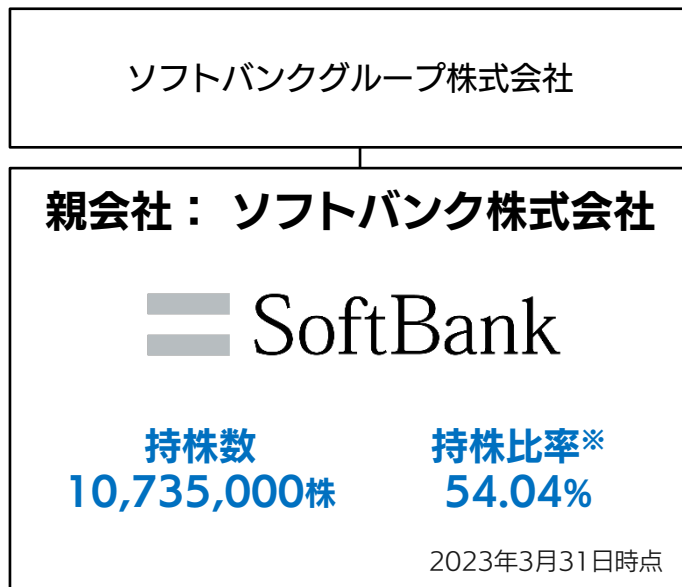
DX認定



FTSE Blossom Japan Sector
 Relative Index



JPX日経中小型株指数



主要な子会社 2023年3月31日時点

	M-SOLUTIONS株式会社 クラウドサービス及びスマートデバイスを中心としたシステム の設計・開発及び保守・運用サービスの提供	代表者：植草 学 出資比率：100% 従業員数：56名
	フォントワークス株式会社 デジタルフォント(書体)の企画・開発・販売及びソフトウェア の開発、テクニカルサービス、OEM等の提供	代表者：原田 愛 出資比率：100% 従業員数：57名
	株式会社 環 クラウドサービスを活用した社内の業務改善・コミュニケー ション改革を実現する教育コンテンツの提供	代表者：青木 沙織 出資比率：100% 従業員数：10名
	サイバートラスト株式会社 IoTサービス、OSS/Linuxサービス、認証・セキュリティサー ビスの提供	代表者：眞柄 泰利 出資比率：58.01% 従業員数：225名
	リデン株式会社 農業データの活用を促進し、農業成長サイクルの加速を支援 するプラットフォームの提供	代表者：上原 郁磨 出資比率：82.57% 従業員数：2名
	株式会社電縁 通信、自治体などを中心としたシステムコンサルティング、 Webシステム開発の提供	代表者：渡辺 真生 出資比率：100% 従業員数：76名
	アイ・オーシステムインテグレーション株式会社 情報処理システムの開発及び販売・保守等の提供	代表者：関口 雅之 出資比率：100% 従業員数：27名

クラウドとセキュリティで お客様のDX化を支援

ICTサービスビジネス

通信

- オンプレミス（プライベートクラウド含）のシステム構築/運用保守
- クラウドコンサルティング/移行支援/構築/運用
- セキュリティ運用監視サービス 等

エンタープライズ

- クラウドコンサルティング/移行支援/構築/運用/IT教育サービス、AI・IoTソリューション
- セキュリティコンサルティング/導入支援/運用監視サービス、電子認証ソリューション 等

公共

- クラウド移行支援/構築/運用/IT教育サービス、AI・IoTソリューション
- セキュリティコンサルティング/導入支援/運用監視サービス 等

個人

- ノートンストア等のECサイト運営代行
- フォントライセンスのEC販売 等



国内トップクラスのクラウド導入実績と、マイクロソフトが認める技術力

クラウドサービスが普及し始めた2009年からクラウドビジネスを開始し、エンタープライズ企業を中心にMicrosoft 365の導入、Microsoft Azure環境での構築支援など、クラウドソリューションの導入と運用を行っています。このクラウドソリューションを基盤に、さらなるデータの利活用やDX人材の育成・創出などお客様の課題に寄り添った幅広いDX支援を行っています。

実績

クラウドソリューションの導入実績は1,000社以上に及び、豊富な開発実績とノウハウを蓄積。製造業や建設業などさまざまな業界に向けて支援を行っています。

建設業、製造業、教育機関など
大手企業を中心に多数導入



外部評価

日本マイクロソフトがパートナー向けに行うアワードで9年連続受賞。2022年では自治体との脱炭素化への取り組みやセキュリティへの対応が評価され、2部門で受賞しました。

マイクロソフト ジャパン
パートナー オブ ザ イヤー



2014年から9年連続受賞

Microsoft Worldwide
Partner Award



日本初の4冠受賞

サービス

clouXion (クラウジョン) は、Microsoft 365 を利活用するための当社のクラウドソリューションブランドです。「働き方改革」の具体的な課題解決のために生まれました。



clouXion 導入実績 **898社**
2023年4月時点



情報セキュリティのトータルソリューションを提供

巧妙化・多様化するサイバー攻撃への対策として、セキュリティ導入支援から、セキュリティシステムの運用監視を行うマネージドセキュリティサービス (MSS)、経験豊富な専門家によるCSIRT※1構築支援、企業の包括的なセキュリティを支援するコンサルティングなど、お客様の重要な情報資産保護や事業継続をサポートする幅広いサービスをワンストップで提供しています。

実績

数百を超えるエンタープライズのお客様にMSSを提供しています。自治体向けには12県405市町村に対して、総務省が推進を行う「自治体情報セキュリティクラウド」の構築・運用、MSSの提供を行っています。



外部評価

ITRが調査を行う「Microsoft 365運用監視サービス」及び「SIEM運用分析サービス／マネージドXDRサービス」の2市場分野で2021年度ベンダー別売上金額シェア1位※2を獲得しました。



出典：ITR 「ITR Market View：エンドポイント・セキュリティ対策型／情報漏洩対策型SOCサービス市場2022」

サービス

セキュリティ監視センターにて、専門のセキュリティアナリストが24時間365日体制でお客様環境のセキュリティシステムやネットワークを監視し、サイバー攻撃や不正アクセスから守るMSSを提供しています。



セキュリティ監視センター

※1 「Computer Security Incident Response Team」の略語で、マルウェア感染や侵入などのインシデントが発生したときに対応するチームを指す。41
※2 出典：ITR 「ITR Market View：エンドポイント・セキュリティ対策型／情報漏洩対策型SOCサービス市場2022」



情報革命で人々を幸せに ～技術の力で、未来をつくる～

SBTグループは持続可能な社会の実現に向け、
事業・企業活動を通じて、さまざまな社会課題の解決に取り組みます。

基本方針



ICTサービスの提供によるイノベーション創出で、
お客様の価値創造に貢献します。



気候変動対応に向けて、温室効果ガス排出量の削減や
エネルギー効率の向上、水などの資源利用の削減
及び効率化、生物多様性への配慮などに取り組みます。



株主の期待に沿えるよう、成長への挑戦を忘れず、
透明で公正な情報開示をします。



次世代育成、情報セキュリティの強化、
災害対策・復興支援などを通じて、
豊かな情報化社会の実現に貢献します。



従業員のやりがいと誇り、個性がいかされ、
性別や年齢、国籍等にとらわれない、平等で多様性
に富み、チャレンジできる環境を大切にします。



国際規範や各種法令・ルールを遵守し、
誠実な事業活動を行います。



汚職や贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗を防止し、
取引先との公正な取引関係を築きます。



SBTグループにおける6つのマテリアリティの達成に向けて、KPI（取り組み指標）を設定しました。サステナビリティへの取り組みをより一層強化し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

マテリアリティ	関連性の高いSDGsターゲット	取り組みテーマ	KPI	目標	目標年度
クラウドを活用した、地球環境への貢献 電気効率の高いデータセンターを通じたクラウド活用を推進することによる、温室効果ガスの排出削減へ貢献します。	9 13	テクノロジーによる気候変動への対応、環境負荷低減 お客様のエネルギー・資源効率を高め、CO2排出削減および環境負荷低減にクラウドサービスの利用拡大を促進し、寄与します。	クラウド・セキュリティ & サービス売上	第4次中期経営計画 (FY22-24) で掲げた売上目標500億円	2024
先進技術による、アクセシビリティ促進とデータ利活用推進 先端技術を用いてDXを推進し、お客様のデータ利活用を通して本業へ貢献していきます。	9 12	DXによる社会・産業の構築 進展するデジタル社会において先進的なデータ活用を促進し、お客様とともに新たな価値を生み出す共創型DXを推進します。	クラウド・セキュリティ & サービス売上	第4次中期経営計画 (FY22-24) で掲げた売上目標500億円	2024
			イノベーションへの投資額	前年度対比120%	2024
継続的な高度セキュリティ技術の強化 複雑化するサイバー攻撃の脅威への対策となるセキュリティ導入支援から、運用監視など企業や自治体への包括的なセキュリティサービスを継続提供します。	9 12	安全な社会基盤を支える サイバーセキュリティ関連サービスの提供 社会に必要な不可欠なデジタルインフラの利便性向上と、情報の安全性確保を支援し、安全で安心な情報社会の実現に貢献します。	クラウド・セキュリティ & サービス売上	第4次中期経営計画 (FY22-24) で掲げた売上目標500億円	2024
			累計セキュリティ監視ID/センサー数	前年度対比130%	2024
国の礎である「食」の安全確保に対する、技術での貢献 農林水産省のデジタル化支援や生産者向け独自サービスを通じ、国視点/生産者視点で直接/間接的に日本農業への貢献を進めます。	2 12 17	農業にかかわる行政手続きにおけるDX推進 国が掲げる「農業DX構想」に基づく官民連携の取り組みを進め、農業に関わる行政手続きなどのデジタル化を促進し、農業者と農業関係者の負担を軽減します。	農林水産省の行政手続きにおける電子化した申請数	3,000	2025
		農業者と農業関係者の支援による持続可能な農業への貢献 生産者と消費者をつなぐデジタルプラットフォームの確立により、農業の生産力向上・実利貢献と持続性の両立を支え、将来にわたって食料の安定供給に寄与します。	農業プラットフォーム「agmiru」ユーザ数	150% (2021年比)	2024
多様なライフスタイルを通じた社会への貢献 テクノロジーの力を活用し、多様化したライフスタイルに合う柔軟な働き方の実践へ貢献します。	5 7 8	事業を通じた社会との共創と、豊かな生活づくりへの貢献 テクノロジーを活用した「多様なライフスタイルに対応した働き方のモデル」を実践し、社会に広く提案することで、より多くの人々が働きやすい、豊かな生活の実現に貢献します。	ライフワークバランスの推進	全社平均残業時間 25時間/月	2024
			フレックス制度とテレワーク制度等を併用した、効率的な勤務制度の推進	制度推進・運用	2024
			働きやすい職場環境の整備	男性育休取得率50%	2024
成長を牽引する人的資本の拡充と事業創出のための仕組み構築 当社ビジネスの付加価値の源泉は人材であると考えており、挑める環境の組織風土醸成を目指し、積極的な人材採用と教育投資を実施します。	5 8	多様な人材の育成と活躍促進 属性に依ることなく役割に応じて平等に登用する人事制度を導入し、社員が主体的にキャリアアップできるような研修や事業の変化に見合ったリスクリングの機会をつくることで、一人一人の更なる成長を支援します。	女性活躍の推進	管理職層（※）に占める女性の比率 2030年…12% 2035年…15%	2035
			スキルアップ支援制度の充実	制度の推進・運用	2024
			ビジネスパートナーとの協業&教育スキームの構築	制度の導入・開始	2024

※管理職層とは：マネジメント職および業務/責任の程度が左記のものに相当する社員を含む

2023/03/09 「健康経営優良法人2023（大規模法人部門）」に認定



特に優良な健康経営を実践している企業を認定する健康経営優良法人認定制度において、「健康経営優良法人2023（大規模法人部門）」に認定されました。2016年度に経済産業省が創設した制度で、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから評価を受けることができる環境を整備することを目的としています。当社では、長時間労働の抑止に向けて、効率的かつ柔軟な働き方が可能な勤務制度・残業時間の削減に取り組んでおり、今後もさらなる健康増進に向けて取り組んでいきます。

2023/3/27 「VMware Carbon Black」に対応したマネージドセキュリティサービスを提供開始



マネージドセキュリティサービス（MSS）の監視対象に、エンドポイント保護ソリューション「VMware Carbon Black」を追加し提供開始しました。SBTのセキュリティ監視センターがお客様環境の「VMware Carbon Black CloudTM」を監視し、24時間365日体制でセキュリティアナリストが監視とログ分析、報告を行います。不審な挙動を検知した場合は、お客様に代わって迅速に対処（被害が疑われる端末をネットワークから即時隔離等）を行います。

2023/04/04 龍谷大学の農業データを一元管理するデータ分析基盤を Microsoft Azure で開発。 収集・可視化・分析まで総合的な支援を実施



SBテクノロジーと龍谷大学は、農学分野の日本産業デジタル化・高付加価値化をけん引する高度専門人材育成の実現に向けた取り組みにおいて、学生自身が自由にデータにアクセスでき、分析・活用を可能にするデータ分析基盤の開発及び、教育の一環として次世代の“アグリDX人材”育成に向けた講義をおこないました。SBTは、龍谷大学とともにデータ活用における収集、可視化、分析までを含めた総合的な支援を通じてDXを実現し、農学部と先端理工学部による分野を横断した研究の実現や、新たな教育機会の創出に大きく貢献しました。

数字で見るSBT

※(連結)の記載がない項目はSBT単体の指標となります。
※期間の掲載がない項目は2023年3月末時点のものです。

働く人

SBT
社員数
(連結) **1,417名**

23年度新卒
62名
(連結)

平均年齢
38.4歳

働き方

生産性向上による残業削減
42時間 → **27時間**
2015年度 2022年度

1人あたり有給消化率
70%
(2022年度)

テレワーク実施率
60%
(2022年度下期)

成長支援

能力開発休暇の活用 (2022年度)
取得人数 **242人** 取得総日数 **536日**

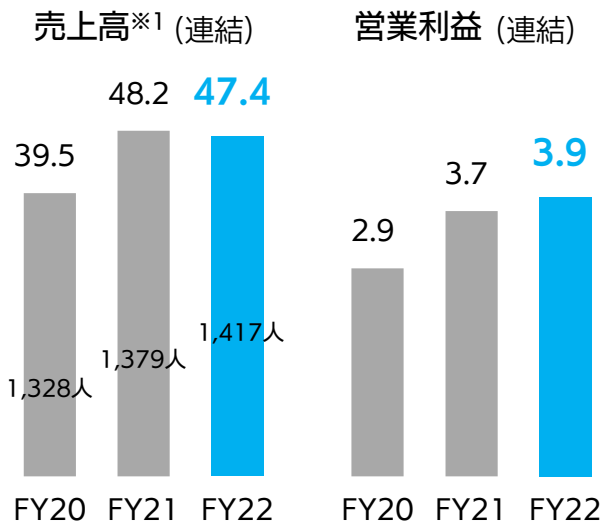
PMP保有者 **155人** CBAP保有者 **52人**

技術人員

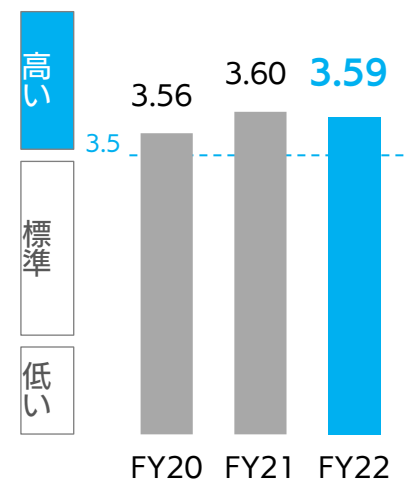
職種比率
7 : 2 : 1
(技術) (営業) (管理)

開発パートナー
約2,800人

社員1人あたり指標 (百万円)



社員総合満足度 (5段階評価)



PMP (Project Management Professional)

幅広い知識とプロジェクトマネージャーとしての実務経験が求められるプロジェクト管理の国際標準資格。SBT技術社員の約2割が保有。

CBAP (Certified Business Analysis Professional)

5年以上の経験豊富なビジネスアナリシス実務経験を認定する資格試験。

当社社員が働くうえで重視する指標の1位は「**やりがい**」。アンケートではやりがいに関する各指標が例年高水準

資料留意事項

1. 本資料に記載した各種グラフ内に表示している数値については、その端数処理の関係から、各種グラフ内の数値と決算短信に記載した数値に乖離が出ている場合があります。
2. 前連結会計年度より「新収益認識に関する会計基準」を適用しており、2021年3月期以前の売上高については主な影響であるノートンビジネスを過去から純額表示にした未監査の参考値を記載しております。

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、及びその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、様々なリスク及び不確実性が内在しています。実際の業績等は経営環境の変化等、様々な要因により、これら見通しと大きく異なる可能性があります。

また、本資料は当社グループの業績や事業進捗等に関する情報提供を目的としており、当社及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

本資料に掲載されている会社名、ロゴ、サービス名等は、当社、当社グループ会社、または該当する各社の商標または登録商標です。

情報革命で人々を幸せに

～ 技術の力で、未来をつくる ～

＝ SB Technology